

平戸市の公共施設等に関する
市民アンケート

報 告 書

平成28年4月

アジア航測株式会社

目次

1. 市民アンケート結果のまとめ	1
1.1 アンケートの調査方法	1
1.2 アンケートの結果	1
1.3 公共施設の利用状況	2
1.4 公共施設についての考え	5
1.5 公共施設の維持管理について	7
2. 公共施設等の利用状況について	9
2.1 問1 公共施設等の利用頻度と利用しない理由について	9
2.2 地区別の公共施設の利用状況	11
2.3 地区別施設種別の公共施設の利用状況	25
3. 公共施設についての考え	28
3.1 問2 優先的に維持すべき公共施設の機能	28
3.2 問3 将来的に優先して見直すべき施設	30
3.3 問4 公共施設の修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況に対する認知	32
3.4 問5 将来維持が困難となる公共施設に対する施策	33
3.5 問6 公共施設を適切に管理運営していくための方針	34
3.5.1 (ア) 公共施設そのものに対する取組み方針	34
3.5.2 (イ) 公共施設のサービス・運営に対する取組み方針	36
3.6 問7 今後施設の統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設名とその理由	38
3.7 問8 今後も維持すべきであると考えられる施設名とその理由	41
3.8 問9 市民との意識の共有方法	44
3.9 問10 公共施設等に対して期待することや要望、老朽化対策や維持更新費用の削減に必要と考えられる方策など(自由記入)	46
4. アンケート回答者の属性	47
5. アンケート回収率	48

1. 市民アンケート結果のまとめ

1.1 アンケートの調査方法

- ① 発送及び郵送 郵送
- ② アンケート方法 記入式
- ③ サンプル抽出方法 地区別年齢別の人口比率を考慮した無作為抽出
- ④ アンケート数 2,500名（18歳以上）
- ⑤ アンケート期間 発送：平成28年1月28日
締切：平成28年2月15日

※最終的には、平成28年2月28日投函分まで集計

1.2 アンケートの結果

アンケートの回答者数は、910名、有効回答率36.4%であり、配布数に対して4割近い回答が得られた。

これは、平戸市で実施された同規模のアンケート（表1参照）と比べても、非常に良い回収率であり、公共施設の維持管理に対する関心の高さがうかがえる。

- ① 回答者数 910名
- ② 有効回答率 36.4%

表1 平戸市における他のアンケート結果

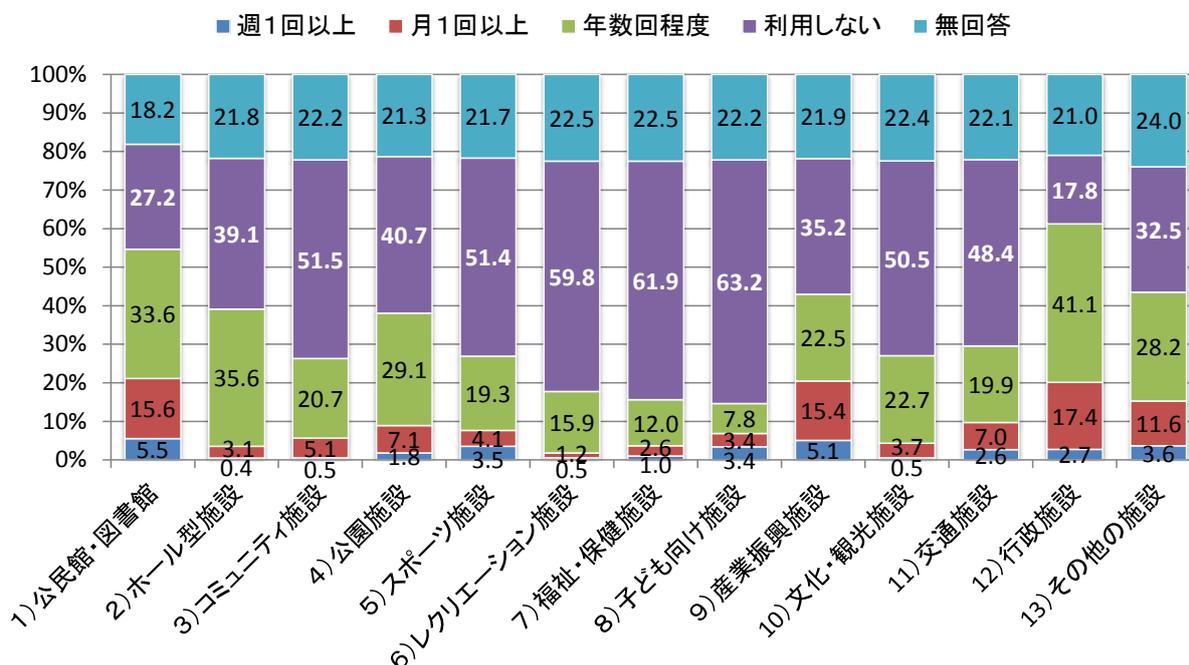
アンケート名称	調査年度	アンケート数	有効回答率
平戸市マスタープラン	平成23年度	3,000	27.0%
まちづくりに関するアンケート調査（市民）	平成27年度	2,500	24.3%

1.3 公共施設の利用状況

【市全体の傾向】

- 公共施設は、回答者の17.8～63.2%が利用していない。
- 回答者の半数以上が利用していないのは、コミュニティ施設（集会施設）、スポーツ施設、レクリエーション施設（休養・娯楽施設）、福祉・保健施設、子ども向け施設および文化・観光施設であった。
- 週1回以上利用している方は、最も多い施設種でも6%に満たない。
- 公民館・図書館、産業振興施設、行政施設は、他の施設種と比較して利用頻度が高い。

公共施設の利用状況



公共施設の利用について、コミュニティ施設（集会施設）、スポーツ施設、レクリエーション施設（休養・娯楽施設）、福祉・保健施設、子ども向け施設および文化・観光施設は、回答者の半数以上が利用していないという状況であった。特に、子ども向け施設は63.2%、福祉・保健施設は61.9%、レクリエーション施設（休養・娯楽施設）は59.8%と回答者のおよそ6割が利用していないという回答であった。また、これら施設を利用しない理由についても、「利用する必要（機会）がない」との回答が8割以上を占め、多くの市民にとって施設の必要性が低いという結果となった。さらに、これらの施設が比較的多く整備されている北部地区においても利用頻度が低く、充実度に関係なく必要性が低い施設であることがわかった。

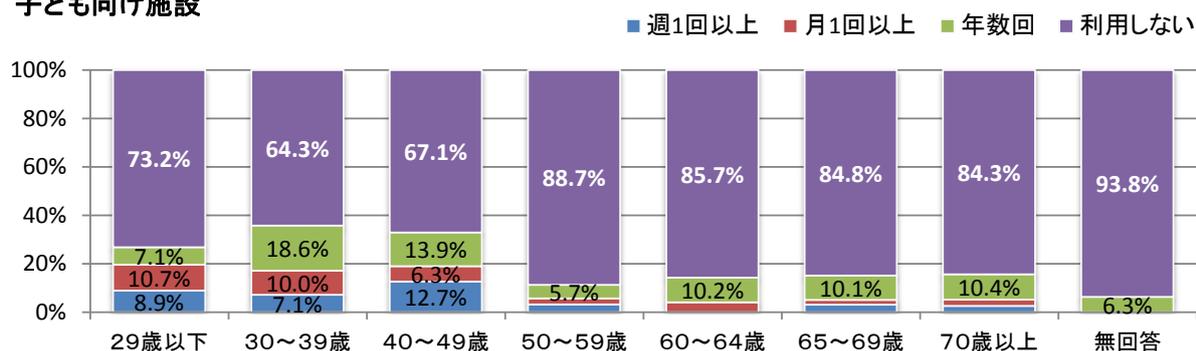
利用の比較的多い施設は、公民館・図書館、産業振興施設、行政施設であり、利用頻度が週1回以上と月1回以上を合わせると2割の市民が利用している。公民館・図書館は度島地区を除くすべての地区に整備されていることから、利用頻度が比較的高くなったと考えられる。

次に、「利用していない」と回答が多かった子ども向け施設、福祉・保健施設およびレクリエーション施設（休養・娯楽施設）について、年齢層別の利用状況を分析しました。無回答の数は集計から除いている。

子ども向け施設とレクリエーション施設は、49歳以下の年齢層で利用頻度が高くなっている傾向がみられた。

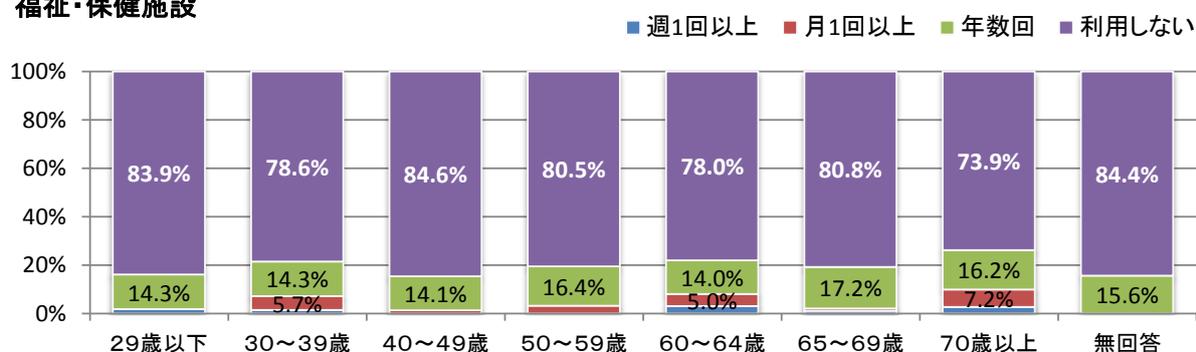
➤ 子ども向け施設は、49歳以下の年齢層で利用頻度が高くなっているが、6割以上が「利用しない」と回答している。

子ども向け施設



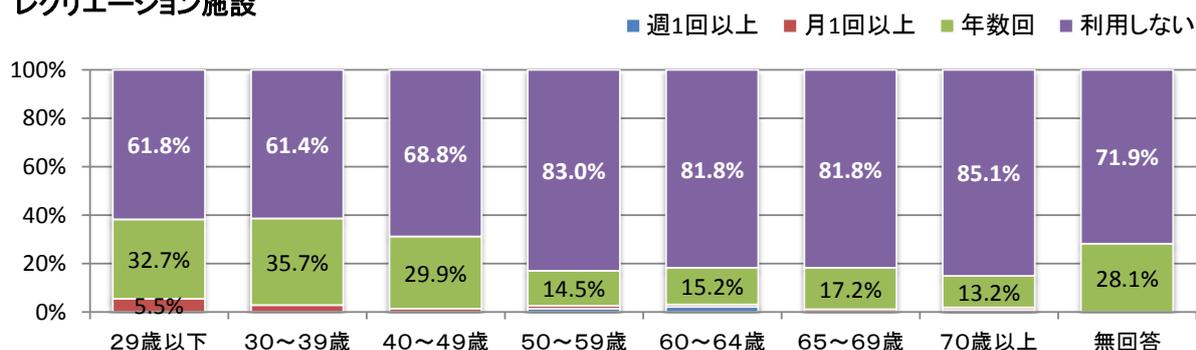
➤ 保健・福祉施設は、70歳以上で利用頻度がやや高いものの、年齢層別に大きな違いはみられなかった。

福祉・保健施設



➤ レクリエーション施設（娯楽・休養施設）は、子ども施設と同様に49歳以下の年齢層で利用頻度が高くなっているが、6割以上が「利用しない」と回答している。

レクリエーション施設



【地区別の傾向】

- ホール型施設など整備されていない地区では、利用頻度が低い傾向にあった。なお、生月地区ではホール施設が整備されているにもかかわらず利用頻度が低かった。
- 公民館・図書館や産業振興施設などは、誘致圏域が広いと考えられ、他地区からの利用もみられた。

地区別では、南部地区、度島地区および大島地区において利用の少ない（年数回程度と利用しない）ホール型施設は、いずれも地区内に存在していないことがその理由と考える。一方、生月地区では、ホール型施設が存在するにもかかわらず利用が少なく、地区内での必要性が低いという状況がうかがえる。

北部地区では、産業振興施設が整備されていないものの、利用が最も多いという回答が得られた。これは、隣接する田平地区で産業振興施設が充実していることから、他地区の施設を利用している状況がうかがえる。

度島地区についても、公民館・図書館が地区内にないものの、利用の多い施設であることから、他地区の施設を利用している状況がうかがえる。

表 2 地区別の公共施設の利用状況

地区	利用の多い施設 (上位2施設)	利用の少ない施設 (上位2施設)	利用しない理由 (上位2つ)
北部	産業振興施設 公民館・図書館	レクリエーション施設 福祉・保険施設	利用する機会がない 施設の存在・サービスがわからない
中部	公民館・図書館 行政施設	レクリエーション施設 文化・観光施設	利用する機会がない 施設の存在・サービスがわからない
南部	公民館・図書館 行政施設	ホール型施設 レクリエーション施設	利用する機会がない 施設の存在・サービスがわからない
度島	交通施設 公民館・図書館	ホール型施設 スポーツ施設、文化・観光施設	利用する機会がない 交通アクセスが不便
生月	行政施設 公民館・図書館	ホール型施設 レクリエーション施設	利用する機会がない 施設の存在・サービスがわからない
田平	産業振興施設 公民館・図書館	レクリエーション施設 公園施設、交通施設	利用する機会がない 施設の存在・サービスがわからない
大島	交通施設 行政施設	公園施設 ホール型施設、レクリエーション施設	利用する機会がない 交通アクセスが不便

注1：利用の多い施設・・・利用頻度が週1回以上と月1回以上の合計

注2：利用の少ない施設・・・利用頻度が年数回程度と利用しないの合計

注3：地区内に施設がないものは赤字で示した。

1.4 公共施設についての考え

【市全体の傾向】

- 「優先的に維持すべき機能」では、「会議の場やコミュニティ（集会）活動等の交流の場に利用できる機能（集会機能）」が最も多い。
- 「将来的に優先して見直すべき機能」では、「利用が少ない施設」が最も多い。

公共施設について、「優先的に維持すべき機能」として最も多いものは、「会議の場やコミュニティ（集会）活動等の交流の場に利用できる機能（集会機能）」であり、全体のおよそ4割が回答した。次いで、「レクリエーション（休養・娯楽）機能」、「チーム（集団）や個人でスポーツ（運動）ができる機能（スポーツ機能）」という回答が多かった。

「1.3 公共施設の利用状況」では、コミュニティ施設（集会施設）、スポーツ施設、レクリエーション施設（休養・娯楽施設）は、半数以上が利用していないという回答であるにもかかわらず、これらを優先的に維持すべき機能とする回答が多かった。

これらの結果から、今回のアンケートで利用されていないという回答が多かった施設についても、利用する機会の創出、市民ニーズへの対応（市民ニーズの変化への対応）により、利用の増加を見込める可能性がある。

なお、「集会機能」については、公民館や集会所以外の施設でも保有している機能であり、それら施設の会議室等を市民に開放・周知することで充実化が可能と考えられる。

「将来的に優先して見直すべき機能」として最も多いものは、「利用が少ない施設」であり、全体のおよそ5割が回答した。次いで、「建物・設備が古くて老朽化した施設」、「市民のニーズ（要望・需要）に合っていない施設」、「維持管理費の高い施設」という回答が多かった。

【地区別の傾向】

- 「優先的に維持すべき機能」として北部地区では「観光機能」、度島地区では「産業支援機能」、田平地区では「スポーツ機能」、大島地区では「交通機能」とそれぞれ地区の特徴がみられた。
- 「将来的に優先して見直すべき機能」としては、概ね「利用が少ない施設」と「老朽化した施設」という回答であった。

地区別では、「優先的に維持すべき機能」として「集会機能」という回答がほとんどの地区で上位となった。

北部地区では、平戸城等の観光施設、観光ガイド拠点施設が整備されるなど観光の拠点となっていることから、観光機能を維持していくという回答が最も多かった。

度島地区では、離島という条件と水産業が盛んなことから、「産業支援機能」と「交通機能」が上位を占めた。「交通機能」を維持すべきという回答が多いのは、離島である大島地区にも共通した。

産業振興施設が整備されている中部地区、生月地区、田平地区および大島地区では、「産業支援機能」を維持すべきとの回答がおよそ3割以上であった。特に中部地区では、上位2位の意見であり、必要性が高いものと考えられる。また、産業振興施設が整備されていない南部地

区や度島地区でも、「産業支援機能」が上位の回答となっており、他地区の施設を利用している状況とその必要性の高さがうかがえる。

田平地区では、「スポーツ機能」を維持すべきとの回答が最も多くおよそ4割であった。生月地区においてもおよそ4割が維持すべきとの回答であり、両地区ではスポーツ施設の必要性が高いことがうかがえる。

将来的に見直すべき施設は、「利用が少ない施設」および「老朽化施設」という回答がほとんどの地区で上位となった。また、南部地区では「維持管理費の高い施設」、田平地区では「ニーズに合っていない施設」という回答が多かった。

表 3 地区別の公共施設についての考え

地区	維持すべき公共施設の機能 (上位2機能)	将来的に見直すべき施設 (上位2施設)
北部	観光機能 集会機能	利用者が少ない施設、老朽化施設
中部	集会機能 産業支援機能	老朽化施設、利用者が少ない施設
南部	集会機能 休養・娯楽、産業支援機能	利用者が少ない施設、維持管理費の高い施設
度島	産業支援機能 交通機能	利用者が少ない施設、老朽化施設
生月	集会機能 休養・娯楽機能	利用者が少ない施設、老朽化施設
田平	スポーツ機能 集会機能	利用者が少ない施設、ニーズに合っていない施設
大島	交通機能 集会機能	老朽化施設、利用者が少ない施設

1.5 公共施設の維持管理について

- 公共施設に対する施策では、「公共施設を様々な角度から必要性を見直し、人口や税収に見合う範囲の公共施設の量に再編していく。」という回答が最も多い。
- 公共施設に対する取組み方針では、「売却・賃貸による新たな財源確保」という回答が最も多い。
- サービス・運営の方針について、「施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成」という回答が最も多い。
- これらは、地区別でも概ね同様の傾向となった。

将来維持が困難となる公共施設に対する施策について、最も多い回答は、「公共施設を様々な角度から必要性を見直し、人口や税収に見合う範囲の公共施設の量に再編していく。」であり、およそ7割であった。次いで、「現在の市民負担で維持できる範囲の公共施設の量に減らしていく。」がおよそ2割であった。

地区別でも「人口・税収に見合うよう再編」という回答が多かったが、度島地区のみ、「負担増でも現状維持」という回答が上位となった。度島地区では水産業が盛んであり、平均所得も他の地区と比べて高いことが予想され、負担よりも利便性を重視する傾向がうかがえる。

公共施設そのものに対する取組み方針について、最も多い回答は、「売却・賃貸による新たな財源確保」であり、およそ7割であった。次いで、「統廃合・複合化による再編」という回答がおよそ5割であった。地区別においても、これらが上位を占めており、地区別に大きな相違はみられなかった。公共施設そのものに対する取組み方針として、市民の負担を軽減するための財源確保や統廃合・複合化による再編は、市民との共有化を図りやすい状況にある。

サービス・運営の方針について、最も多い回答は、「施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成」であり、およそ5割であった。地区別においても、それぞれで最も多い回答となった。一方で、利用料金の引き上げ等やサービス水準を低下させるという回答は少なく、現状の利用状況（料金・サービス）を維持したいという市民の思いがうかがえる。

表 4 地区別の公共施設の維持管理施策・方針についての回答

地区	維持が困難となる施設の施策	公共施設そのものに対する取り組み方針（上位2つ）	サービス・運営の方針
北部	人口・税収に見合うよう再編	売却・賃貸による新たな財源確保 統廃合・複合化による再編	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成
中部	人口・税収に見合うよう再編	売却・賃貸による新たな財源確保 統廃合・複合化による再編	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成
南部	人口・税収に見合うよう再編	売却・賃貸による新たな財源確保 統廃合・複合化による再編	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成
度島	負担増でも現状維持	売却・賃貸による新たな財源確保 統廃合・複合化による再編、維持管理費の削減	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成
生月	人口・税収に見合うよう再編	売却・賃貸による新たな財源確保 統廃合・複合化による再編	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成
田平	人口・税収に見合うよう再編	売却・賃貸による新たな財源確保 統廃合・複合化による再編	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成
大島	人口・税収に見合うよう再編	統廃合・複合化による再編 維持管理費の削減、売却・賃貸による新たな財源確保	施設を増やさず類似民間施設の利用に対して助成

■個別の集計結果

2. 公共施設等の利用状況について

2.1 問1 公共施設等の利用頻度と利用しない理由について

公共施設種ごとの市民の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「公民館・図書館」の21.1%、次いで、「産業振興施設」の20.4%、「行政施設」の20.1%であった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の75.7%、次いで、「ホール型施設」の74.7%、「福祉・保健施設」の73.8%、「文化・観光施設」の73.3%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、80%を超えたものが「子ども向け施設」の85.8%、「福祉・保険施設」の82.7%、「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の80.7%であった。その他は概ね70%以上となっている。

図 1 公共施設等の利用状況について（有効回答=908~910）

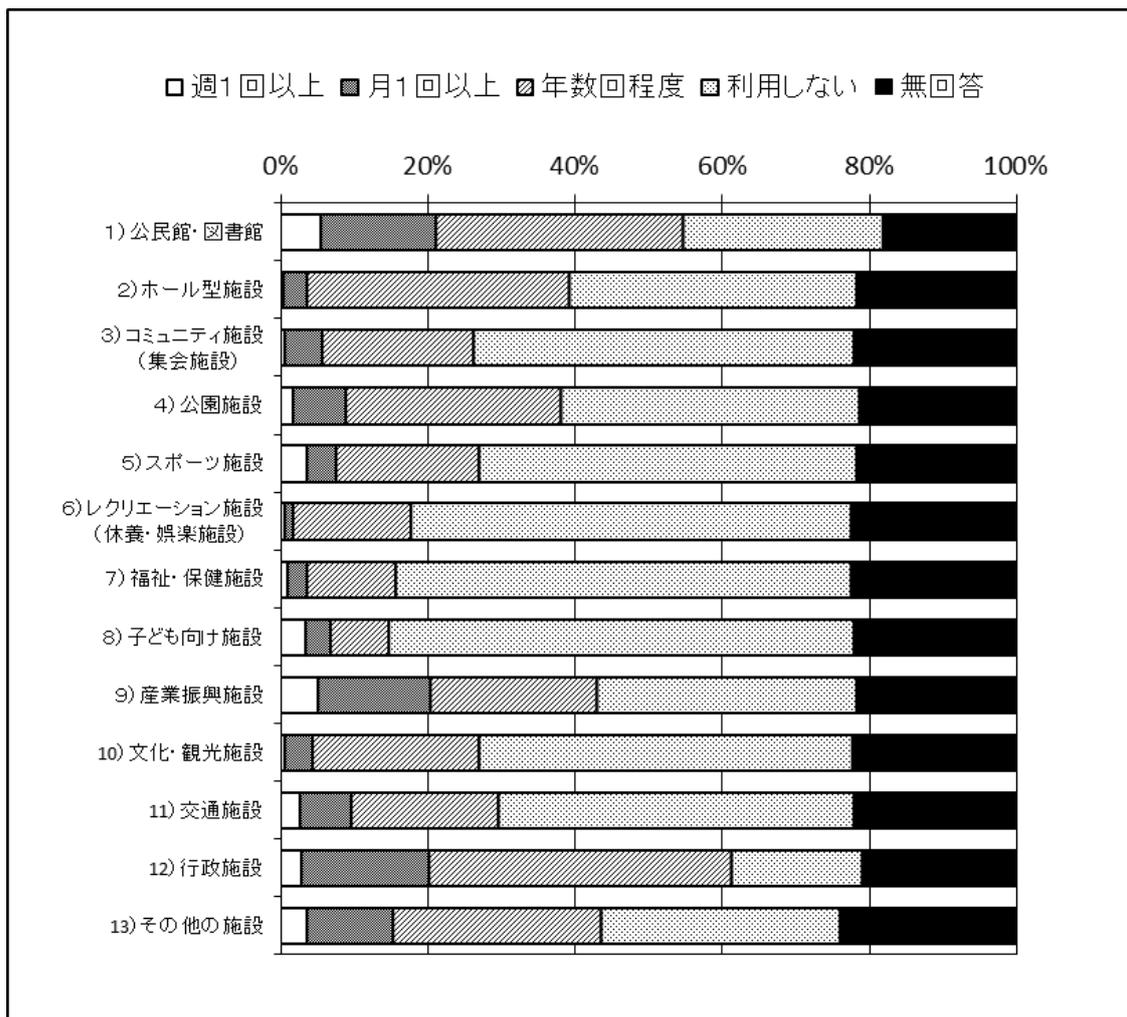


表 5 公共施設等の利用状況について (有効回答=908~910、理由は複数回答可)

問1 公共施設等の利用状況について教えてください。	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要(機会)がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス(手段)が不便である	利用時間帯が合わない	サービスの内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
1) 公民館・図書館	50 5.5	142 15.6	305 33.6	247 27.2	165 18.2	909 100	1	384 69.6	43 7.8	36 6.5	31 5.6	5 0.9	5 0.9	5 0.9	552
2) ホール型施設	4 0.4	28 3.1	324 35.6	356 39.1	198 21.8	910 100	0	509 74.9	58 8.5	25 3.7	29 4.3	6 0.9	5 0.7	6 0.9	680
3) コミュニティ施設 (集会施設)	5 0.5	46 5.1	188 20.7	469 51.5	202 22.2	910 100	0	522 79.5	54 8.2	20 3.0	16 2.4	5 0.8	2 0.3	8 1.2	657
4) 公園施設	16 1.8	65 7.1	265 29.1	370 40.7	194 21.3	910 100	0	470 74.0	41 6.5	42 6.6	22 3.5	9 1.4	16 2.5	12 1.9	635
5) スポーツ施設	32 3.5	37 4.1	175 19.3	467 51.4	197 21.7	908 100	2	509 79.3	43 6.7	28 4.4	24 3.7	6 0.9	7 1.1	8 1.2	642
6) レクリエーション施設 (休養・娯楽施設)	5 0.5	11 1.2	145 15.9	544 59.8	205 22.5	910 100	0	556 80.7	61 8.9	26 3.8	18 2.6	5 0.7	15 2.2	7 1.0	689
7) 福祉・保健施設	9 1.0	24 2.6	109 12.0	563 61.9	205 22.5	910 100	0	556 82.7	61 9.1	15 2.2	18 2.7	1 0.1	7 1.0	8 1.2	672
8) 子ども向け施設	31 3.4	31 3.4	71 7.8	575 63.2	202 22.2	910 100	0	554 85.8	40 6.2	12 1.9	15 2.3	1 0.2	5 0.8	2 0.3	646
9) 産業振興施設	46 5.1	140 15.4	205 22.5	320 35.2	199 21.9	910 100	0	379 72.2	39 7.4	26 5.0	20 3.8	2 0.4	5 1.0	14 2.7	525
10) 文化・観光施設	5 0.5	34 3.7	207 22.7	460 50.5	204 22.4	910 100	0	525 78.7	48 7.2	30 4.5	25 3.7	10 1.5	9 1.3	6 0.9	667
11) 交通施設	24 2.6	64 7.0	181 19.9	440 48.4	201 22.1	910 100	0	495 79.7	32 5.2	30 4.8	15 2.4	5 0.8	4 0.6	4 0.6	621
12) 行政施設	25 2.7	158 17.4	374 41.1	162 17.8	191 21.0	910 100	0	369 68.8	31 5.8	11 2.1	22 4.1	1 0.2	2 0.4	3 0.6	536
13) その他の施設	33 3.6	106 11.6	257 28.2	296 32.5	218 24.0	910 100	0	409 74.0	37 6.7	12 2.2	8 1.4	4 0.7	10 1.8	11 2.0	553

※上段: 回答者数

※下段: 有効回答者数に対する割合(%)

※上段: 回答者数

※下段: 年数回程度～利用しない回答者数に対する割合(%)

2.2 地区別の公共施設の利用状況

2.2.1 北部

公共施設種ごとの北部地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「産業振興施設」の26.2%、次いで、「公民館・図書館」の25.9%、「行政施設」の24.5%であった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「レクリエーション施設(休養・娯楽施設)」の79.7%、次いで、「福祉・保健施設」の79.0%、「ホール型施設」の78.4%、「コミュニティ施設(集会施設)」の76.6%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要(機会)がない」が最も多く、80%を超えたものが「子ども向け施設」の87.7%、「福祉・保険施設」の85.8%、「スポーツ施設」の83.6%、「レクリエーション施設(休養・娯楽施設)」の82.9%、「コミュニティ施設(集会施設)」の81.5%、「交通施設」ので80.0%であった。その他は概ね70%以上となっている。

図 2 公共施設等の利用状況について(有効回答 285~286)

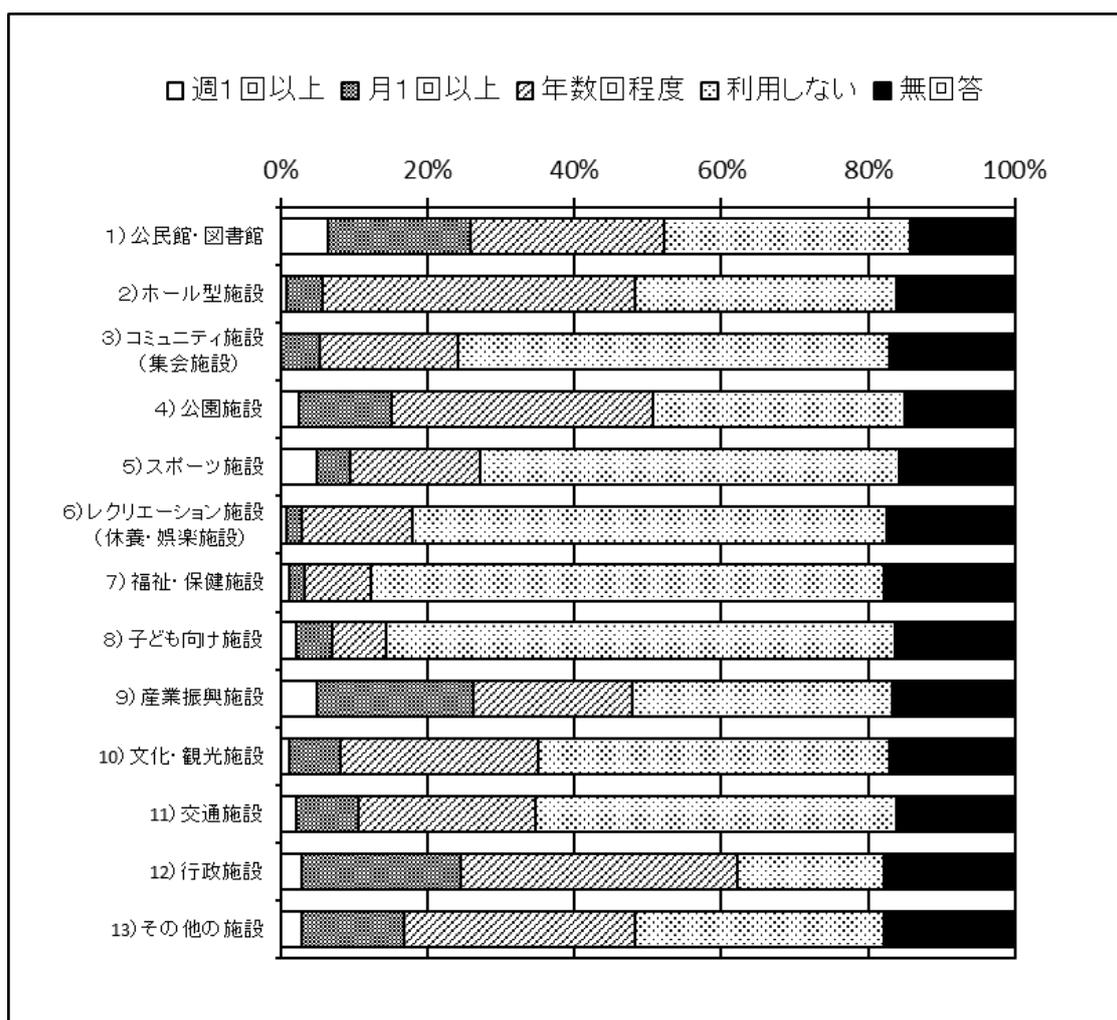


表 6 公共施設等の利用状況について（有効回答＝285～286、理由は複数回答可）

北部	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要（機会）がない	施設が存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス（手段）が不便である	利用時間帯が合わない	サービスの内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度～利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	18 6.3	56 19.6	75 26.2	96 33.6	41 14.3	286 100	0	132 77.2	16 9.4	9 5.3	9 5.3	0 0.0	1 0.6	0 0.0	171
2) ホール型施設	2 0.7	14 4.9	122 42.7	102 35.7	46 16.1	286 100	0	172 76.8	25 11.2	7 3.1	12 5.4	1 0.4	3 1.3	0 0.0	224
3) コミュニティ施設 （集会施設）	0 0.0	15 5.2	54 18.9	168 58.7	49 17.1	286 100	0	181 81.5	24 10.8	6 2.7	7 3.2	0 0.0	2 0.9	4 1.8	222
4) 公園施設	7 2.4	36 12.6	102 35.7	98 34.3	43 15.0	286 100	0	143 71.5	16 8.0	16 8.0	9 4.5	3 1.5	4 2.0	4 2.0	200
5) スポーツ施設	14 4.9	13 4.6	50 17.5	163 57.2	45 15.8	285 100	1	178 83.6	14 6.6	7 3.3	6 2.8	0 0.0	1 0.5	4 1.9	213
6) レクリエーション施設 （休養・娯楽施設）	2 0.7	6 2.1	43 15.0	185 64.7	50 17.5	286 100	0	189 82.9	20 8.8	7 3.1	6 2.6	0 0.0	5 2.2	3 1.3	228
7) 福祉・保健施設	3 1.0	6 2.1	26 9.1	200 69.9	51 17.8	286 100	0	194 85.8	19 8.4	5 2.2	8 3.5	0 0.0	1 0.4	3 1.3	226
8) 子ども向け施設	6 2.1	14 4.9	21 7.3	198 69.2	47 16.4	286 100	0	192 87.7	17 7.8	3 1.4	4 1.8	0 0.0	2 0.9	0 0.0	219
9) 産業振興施設	14 4.9	61 21.3	62 21.7	101 35.3	48 16.8	286 100	0	118 72.4	16 9.8	6 3.7	6 3.7	0 0.0	1 0.6	4 2.5	163
10) 文化・観光施設	3 1.0	20 7.0	77 26.9	137 47.9	49 17.1	286 100	0	170 79.4	17 7.9	6 2.8	9 4.2	3 1.4	4 1.9	1 0.5	214
11) 交通施設	6 2.1	24 8.4	69 24.1	141 49.3	46 16.1	286 100	0	168 80.0	14 6.7	11 5.2	3 1.4	2 1.0	2 1.0	1 0.5	210
12) 行政施設	8 2.8	62 21.7	108 37.8	57 19.9	51 17.8	286 100	0	118 71.5	11 6.7	1 0.6	10 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	165
13) その他の施設	8 2.8	40 14.0	90 31.5	97 33.9	51 17.8	286 100	0	138 73.8	16 8.6	4 2.1	3 1.6	2 1.1	5 2.7	4 2.1	187

※上段：回答者数

※下段：有効回答者数に対する割合（％）

※上段：回答者数

※下段：年数回程度～利用しない回答者数に対する割合（％）

2.2.2 中部

公共施設種ごとの中部地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「公民館・図書館」の21.3%であり、他に20%を超える施設種はなかった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の64.7%、次いで、「文化・観光施設」の63.6%、「福祉・保険施設」の61.6%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、80%を超えたものが「子ども向け施設」の89.7%、「交通施設」ので81.8%であった。その他は概ね70%以上となっている。

図 3 公共施設等の利用状況について（有効回答 99）

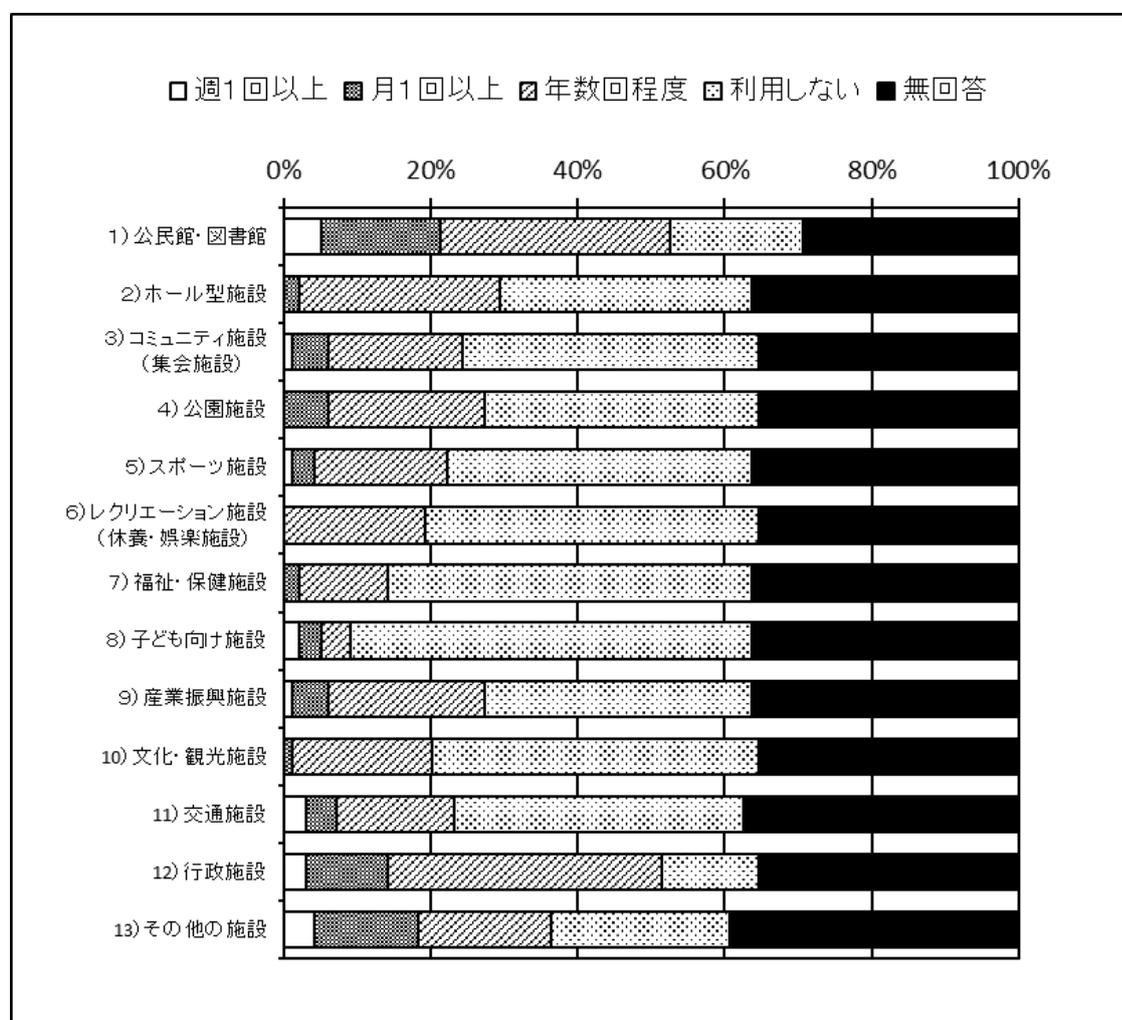


表 7 公共施設等の利用状況について（有効回答=99、理由は複数回答可）

中部	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要（機会）がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス（手段）が不便である	利用時間帯が合わない	サービスの内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	5 5.1	16 16.2	31 31.3	18 18.2	29 29.3	99 100	0	32 65.3	3 6.1	3 6.1	3 6.1	0 0.0	0 0.0	2 4.1	49
2) ホール型施設	0 0.0	2 2.0	27 27.3	34 34.3	36 36.4	99 100	0	47 77.0	6 9.8	4 6.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	1 1.6	61
3) コミュニティ施設 （集会施設）	1 1.0	5 5.1	18 18.2	40 40.4	35 35.4	99 100	0	44 75.9	5 8.6	3 5.2	1 1.7	0 0.0	0 0.0	1 1.7	58
4) 公園施設	0 0.0	6 6.1	21 21.2	37 37.4	35 35.4	99 100	0	45 77.6	6 10.3	3 5.2	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	58
5) スポーツ施設	1 1.0	3 3.0	18 18.2	41 41.4	36 36.4	99 100	0	43 72.9	6 10.2	5 8.5	3 5.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	59
6) レクリエーション施設 （休養・娯楽施設）	0 0.0	0 0.0	19 19.2	45 45.5	35 35.4	99 100	0	48 75.0	10 15.6	4 6.3	2 3.1	1 1.6	1 1.6	0 0.0	64
7) 福祉・保健施設	0 0.0	2 2.0	12 12.1	49 49.5	36 36.4	99 100	0	48 78.7	8 13.1	2 3.3	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	61
8) 子ども向け施設	2 2.0	3 3.0	4 4.0	54 54.5	36 36.4	99 100	0	52 89.7	4 6.9	2 3.4	1 1.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	58
9) 産業振興施設	1 1.0	5 5.1	21 21.2	36 36.4	36 36.4	99 100	0	42 73.7	4 7.0	6 10.5	4 7.0	0 0.0	0 0.0	2 3.5	57
10) 文化・観光施設	0 0.0	1 1.0	19 19.2	44 44.4	35 35.4	99 100	0	45 71.4	5 7.9	4 6.3	5 7.9	2 3.2	0 0.0	1 1.6	63
11) 交通施設	3 3.0	4 4.0	16 16.2	39 39.4	37 37.4	99 100	0	45 81.8	4 7.3	3 5.5	2 3.6	1 1.8	0 0.0	0 0.0	55
12) 行政施設	3 3.0	11 11.1	37 37.4	13 13.1	35 35.4	99 100	0	34 68.0	4 8.0	3 6.0	3 6.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	50
13) その他の施設	4 4.0	14 14.1	18 18.2	24 24.2	39 39.4	99 100	0	31 73.8	3 7.1	3 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42

※上段：回答者数

※下段：有効回答者数に対する割合（％）

※上段：回答者数

※下段：年数回程度～利用しない回答者数に対する割合（％）

2.2.3 南部

公共施設種ごとの南部地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「公民館・図書館」の20.0%であり、「その他の施設」の20.8%を除き、他に20%を超える施設種はなかった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「ホール型施設」と「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」で79.2%、次いで、「福祉・保険施設」の77.4%、「文化・観光施設」の76.5%、「スポーツ施設」の74.5%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、概ね65%以上となっている。「公民館・図書館」においては、52.6%と他の施設種よりも低く、「交通アクセス（手段）が不便である」や「施設の存在やサービスの内容を知らない」という理由が22.3%あった。

図 4 公共施設等の利用状況について（有効回答 114～115）

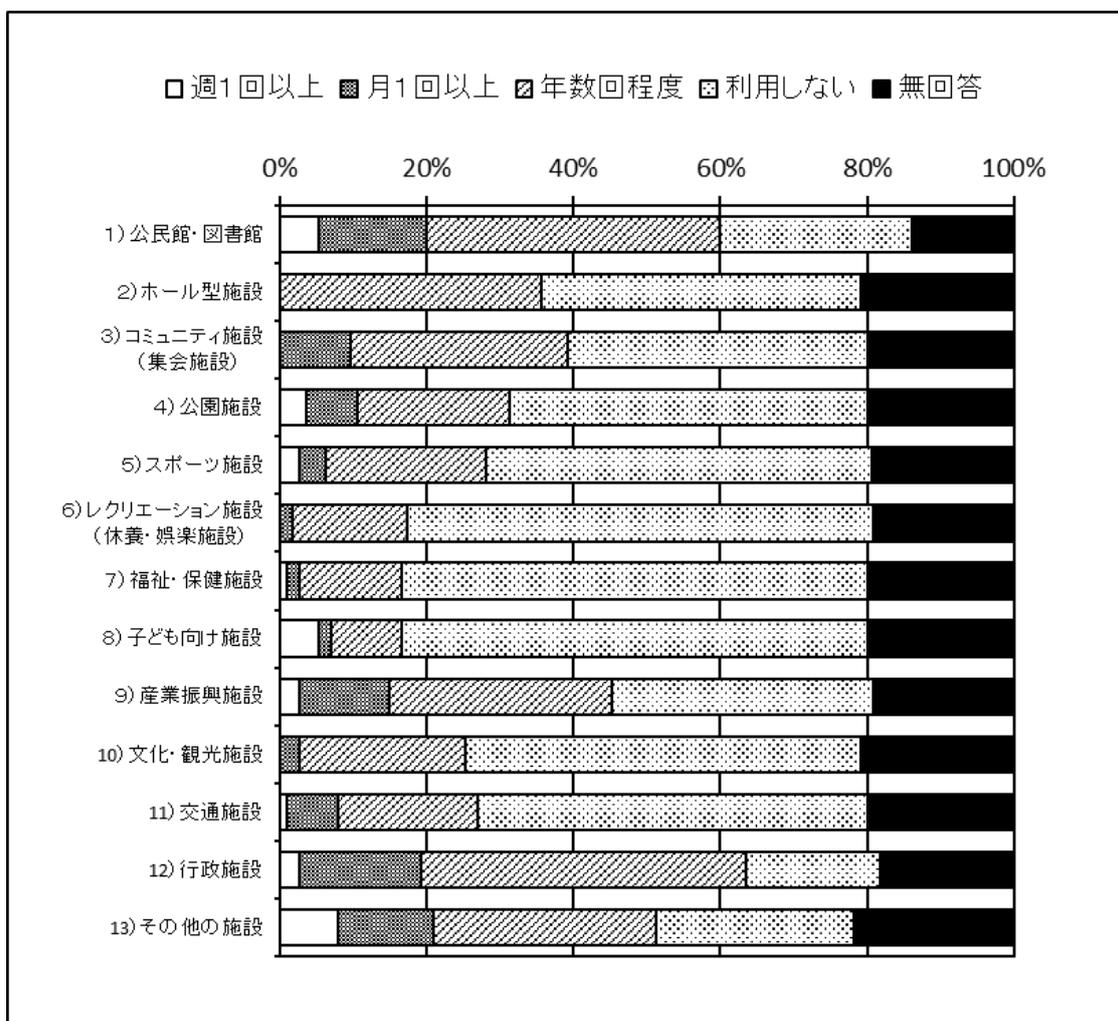


表 8 公共施設等の利用状況について (有効回答=114~115、理由は複数回答可)

南部	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要(機会)がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス(手段)が不便である	利用時間帯が合わない	サービスの内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	6	17	46	30	16	115	0	40	8	9	4	2	1	2	76
	5.2	14.8	40.0	26.1	13.9	100		52.6	10.5	11.8	5.3	2.6	1.3	2.6	
2) ホール型施設	0	0	41	50	24	115	0	64	8	7	2	1	1	3	91
	0.0	0.0	35.7	43.5	20.9	100		70.3	8.8	7.7	2.2	1.1	1.1	3.3	
3) コミュニティ施設 (集会施設)	0	11	34	47	23	115	0	58	8	4	2	2	0	1	81
	0.0	9.6	29.6	40.9	20.0	100		71.6	9.9	4.9	2.5	2.5	0.0	1.2	
4) 公園施設	4	8	24	56	23	115	0	52	8	8	1	2	4	2	80
	3.5	7.0	20.9	48.7	20.0	100		65.0	10.0	10.0	1.3	2.5	5.0	2.5	
5) スポーツ施設	3	4	25	60	22	114	1	64	9	7	1	1	1	2	85
	2.6	3.5	21.9	52.6	19.3	100		75.3	10.6	8.2	1.2	1.2	1.2	2.4	
6) レクリエーション施設 (休養・娯楽施設)	0	2	18	73	22	115	0	67	9	7	3	2	2	1	91
	0.0	1.7	15.7	63.5	19.1	100		73.6	9.9	7.7	3.3	2.2	2.2	1.1	
7) 福祉・保健施設	1	2	16	73	23	115	0	70	9	5	1	0	2	1	89
	0.9	1.7	13.9	63.5	20.0	100		78.7	10.1	5.6	1.1	0.0	2.2	1.1	
8) 子ども向け施設	6	2	11	73	23	115	0	66	7	3	1	0	2	1	84
	5.2	1.7	9.6	63.5	20.0	100		78.6	8.3	3.6	1.2	0.0	2.4	1.2	
9) 産業振興施設	3	14	35	41	22	115	0	49	8	6	0	1	2	2	76
	2.6	12.2	30.4	35.7	19.1	100		64.5	10.5	7.9	0.0	1.3	2.6	2.6	
10) 文化・観光施設	0	3	26	62	24	115	0	66	8	8	0	1	2	1	88
	0.0	2.6	22.6	53.9	20.9	100		75.0	9.1	9.1	0.0	1.1	2.3	1.1	
11) 交通施設	1	8	22	61	23	115	0	66	6	4	1	0	0	0	83
	0.9	7.0	19.1	53.0	20.0	100		79.5	7.2	4.8	1.2	0.0	0.0	0.0	
12) 行政施設	3	19	51	21	21	115	0	47	6	1	1	0	0	0	72
	2.6	16.5	44.3	18.3	18.3	100		65.3	8.3	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	
13) その他の施設	9	15	35	31	25	115	0	44	4	1	1	0	0	1	66
	7.8	13.0	30.4	27.0	21.7	100		66.7	6.1	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	

※上段:回答者数

※下段:有効回答者数に対する割合(%)

※上段:回答者数

※下段:年数回程度～利用しない回答者数に対する割合(%)

2.2.4 度島

公共施設種ごとの度島地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「交通施設」の53.4%、次いで、「公民館・図書館」および「福祉・保険施設」の20.0%であった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「ホール型施設」、「スポーツ施設」および「文化・観光施設」で60.0%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、80%を超えたものが「文化・観光施設」の88.9%、70%を超えたものが「スポーツ施設」の77.8%、「コミュニティ施設（集会施設）」および「公園施設」の75.0%であった。また、「交通アクセス（手段）が不便である」との回答が、「公園施設」および「産業振興施設」で25.0%、「文化・観光施設」で22.2%あった。

図 5 公共施設等の利用状況について（有効回答 15）

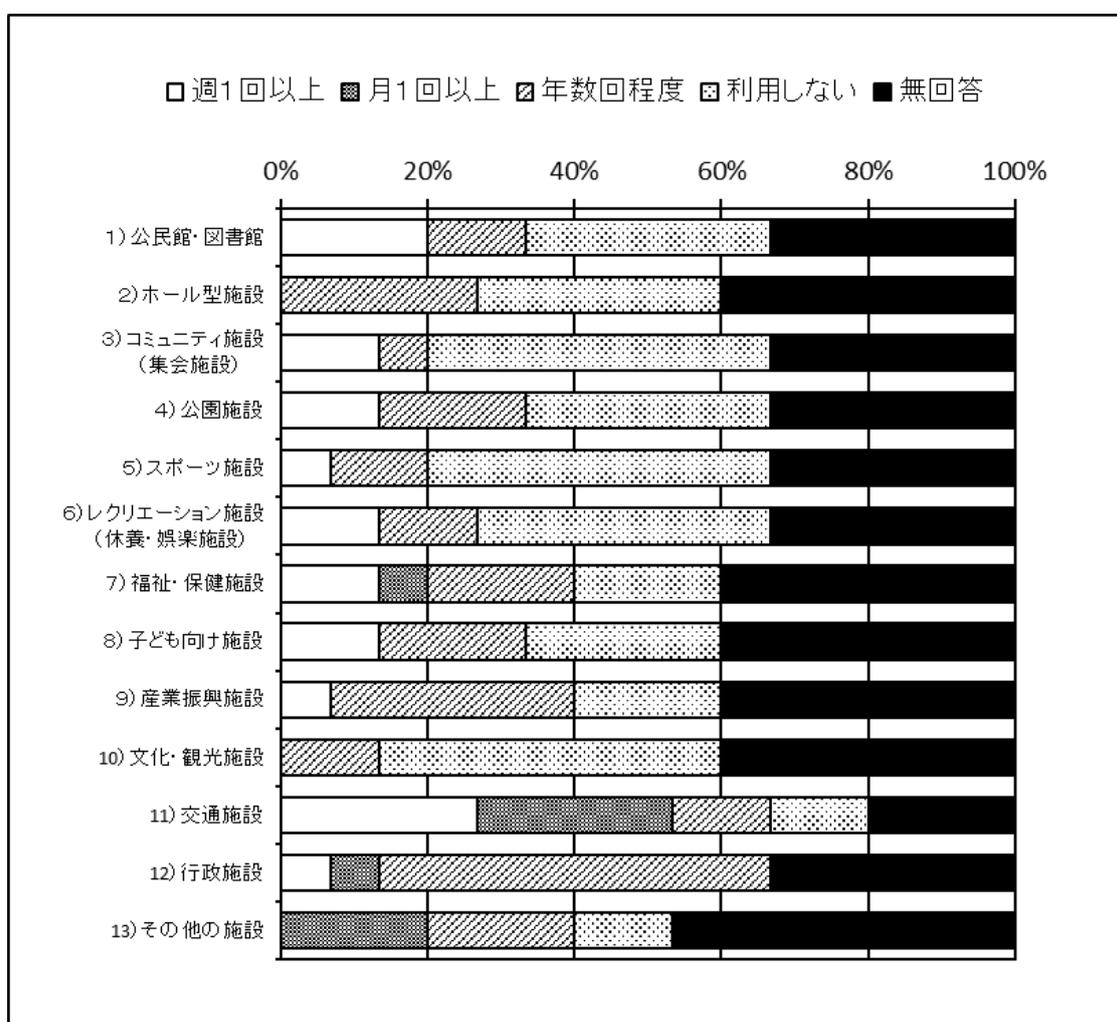


表 9 公共施設等の利用状況について（有効回答＝15、理由は複数回答可）

度島	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要（機会）がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス（手段）が不便である	利用時間帯が合わない	サービス内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	3 20.0	0 0.0	2 13.3	5 33.3	5 33.3	15 100	0	4 57.1	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	7
2) ホール型施設	0 0.0	0 0.0	4 26.7	5 33.3	6 40.0	15 100	0	6 66.7	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9
3) コミュニティ施設 （集会施設）	2 13.3	0 0.0	1 6.7	7 46.7	5 33.3	15 100	0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8
4) 公園施設	2 13.3	0 0.0	3 20.0	5 33.3	5 33.3	15 100	0	6 75.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8
5) スポーツ施設	1 6.7	0 0.0	2 13.3	7 46.7	5 33.3	15 100	0	7 77.8	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9
6) レクリエーション施設 （休養・娯楽施設）	2 13.3	0 0.0	2 13.3	6 40.0	5 33.3	15 100	0	4 50.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	8
7) 福祉・保健施設	2 13.3	1 6.7	3 20.0	3 20.0	6 40.0	15 100	0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	6
8) 子ども向け施設	2 13.3	0 0.0	3 20.0	4 26.7	6 40.0	15 100	0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	7	
9) 産業振興施設	1 6.7	0 0.0	5 33.3	3 20.0	6 40.0	15 100	0	4 50.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8
10) 文化・観光施設	0 0.0	0 0.0	2 13.3	7 46.7	6 40.0	15 100	0	8 88.9	0 0.0	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9
11) 交通施設	4 26.7	4 26.7	2 13.3	2 13.3	3 20.0	15 100	0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	4
12) 行政施設	1 6.7	1 6.7	8 53.3	0 0.0	5 33.3	15 100	0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8
13) その他の施設	0 0.0	3 20.0	3 20.0	2 13.3	7 46.7	15 100	0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	5	

※上段：回答者数

※下段：有効回答者数に対する割合（％）

※上段：回答者数

※下段：年数回程度～利用しない回答者数に対する割合（％）

2.2.5 生月

公共施設種ごとの生月地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「行政施設」の17.0%、次いで、「公民館・図書館」の15.3%であり、「その他の施設」の14.1%を除き、他に10%を超える施設はなかった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「ホール型施設」の72.6%、次いで、「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の70.1%、「福祉・保健施設」の68.9%、「コミュニティ施設（集会施設）」の68.3%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、80%を超えたものが「福祉・保険施設」の85.8%、「子ども向け施設」の85.0%、「コミュニティ施設（集会施設）」の81.3%、「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の80.9%であった。その他は概ね70%以上となっている。

図 6 公共施設等の利用状況について（有効回答 163～164）

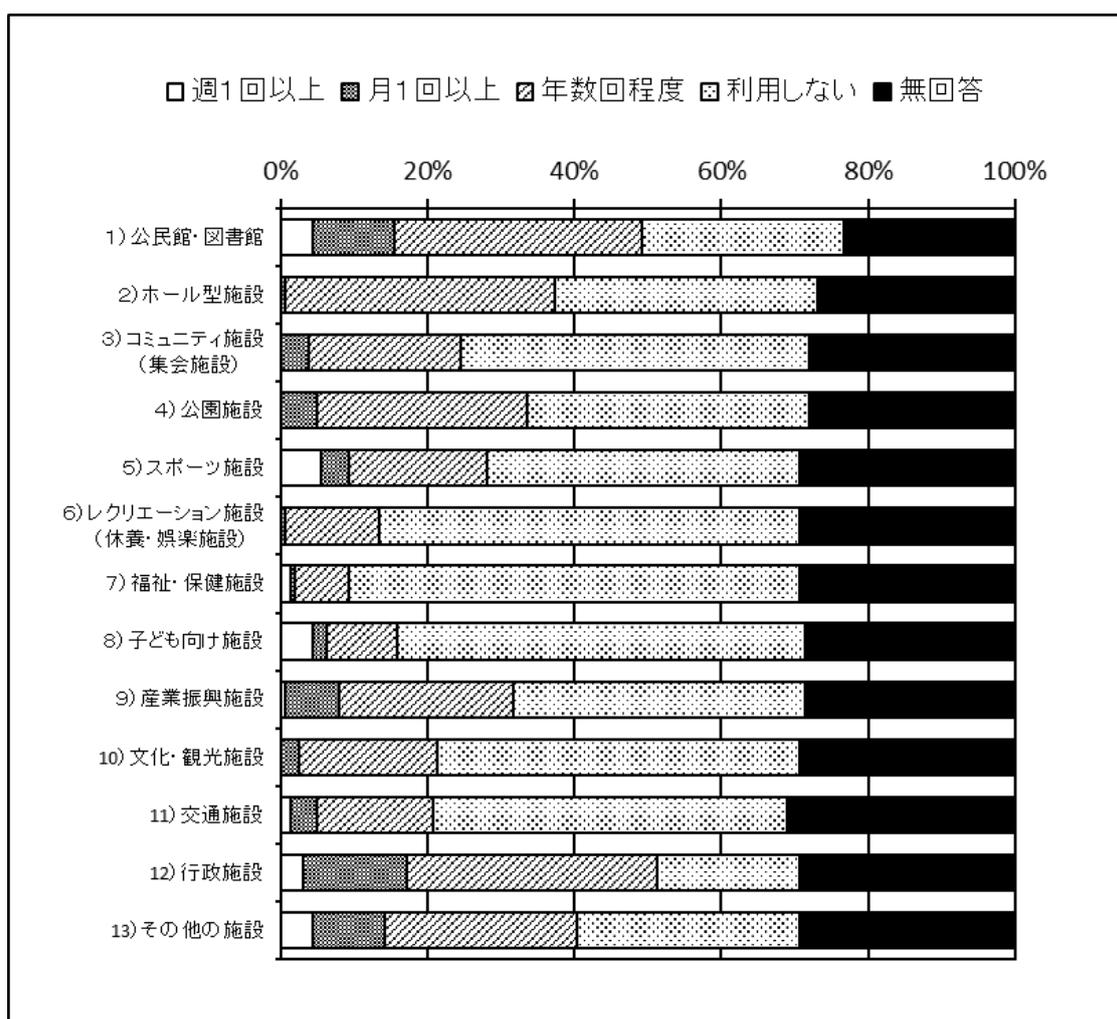


表 10 公共施設等の利用状況について (有効回答=163~164、理由は複数回答可)

生月	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要(機会)がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス(手段)が不便である	利用時間帯が合わない	サービス内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	7	18	55	45	38	163	1	76	7	4	3	1	1	0	100
	4.3	11.0	33.7	27.6	23.3	100		76.0	7.0	4.0	3.0	1.0	1.0	0.0	
2) ホール型施設	0	1	60	59	44	164	0	87	9	1	4	4	1	1	119
	0.0	0.6	36.6	36.0	26.8	100		73.1	7.6	0.8	3.4	3.4	0.8	0.8	
3) コミュニティ施設 (集会施設)	0	6	34	78	46	164	0	91	6	2	1	3	0	1	112
	0.0	3.7	20.7	47.6	28.0	100		81.3	5.4	1.8	0.9	2.7	0.0	0.9	
4) 公園施設	0	8	47	63	46	164	0	87	3	3	5	1	2	0	110
	0.0	4.9	28.7	38.4	28.0	100		79.1	2.7	2.7	4.5	0.9	1.8	0.0	
5) スポーツ施設	9	6	31	70	48	164	0	78	5	4	7	3	1	0	101
	5.5	3.7	18.9	42.7	29.3	100		77.2	5.0	4.0	6.9	3.0	1.0	0.0	
6) レクリエーション施設 (休養・娯楽施設)	0	1	21	94	48	164	0	93	9	3	4	2	2	0	115
	0.0	0.6	12.8	57.3	29.3	100		80.9	7.8	2.6	3.5	1.7	1.7	0.0	
7) 福祉・保健施設	2	1	12	101	48	164	0	97	11	2	3	1	0	0	113
	1.2	0.6	7.3	61.6	29.3	100		85.8	9.7	1.8	2.7	0.9	0.0	0.0	
8) 子ども向け施設	7	3	16	91	47	164	0	91	4	2	3	0	0	0	107
	4.3	1.8	9.8	55.5	28.7	100		85.0	3.7	1.9	2.8	0.0	0.0	0.0	
9) 産業振興施設	1	12	39	65	47	164	0	78	6	3	3	3	1	2	104
	0.6	7.3	23.8	39.6	28.7	100		75.0	5.8	2.9	2.9	2.9	1.0	1.9	
10) 文化・観光施設	0	4	31	81	48	164	0	88	6	5	6	1	1	0	112
	0.0	2.4	18.9	49.4	29.3	100		78.6	5.4	4.5	5.4	0.9	0.9	0.0	
11) 交通施設	2	6	26	79	51	164	0	83	6	2	3	1	0	0	105
	1.2	3.7	15.9	48.2	31.1	100		79.0	5.7	1.9	2.9	1.0	0.0	0.0	
12) 行政施設	5	23	56	32	48	164	0	60	6	1	3	0	0	0	88
	3.0	14.0	34.1	19.5	29.3	100		68.2	6.8	1.1	3.4	0.0	0.0	0.0	
13) その他の施設	7	16	43	50	48	164	0	69	6	3	1	1	3	1	93
	4.3	9.8	26.2	30.5	29.3	100		74.2	6.5	3.2	1.1	1.1	3.2	1.1	

※上段: 回答者数

※下段: 有効回答者数に対する割合(%)

※上段: 回答者数

※下段: 年数回程度～利用しない回答者数に対する割合(%)

2.2.6 田平

公共施設種ごとの田平地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「産業振興施設」の37.6%、次いで、「公民館・図書館」の16.6%、「行政施設」の16.6%であり、他に10%を超える施設はなかった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の80.2%、次いで、「公園施設」および「交通施設」の78.4%、「ホール型施設」および「スポーツ施設」の77.8%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、80%を超えたものが「子ども向け施設」の86.6%、「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の83.1%、「コミュニティ施設（集会施設）」および「文化・観光施設」の80.8%、であった。その他は概ね70%以上となっている。

図 7 公共施設等の利用状況について（有効回答 162）

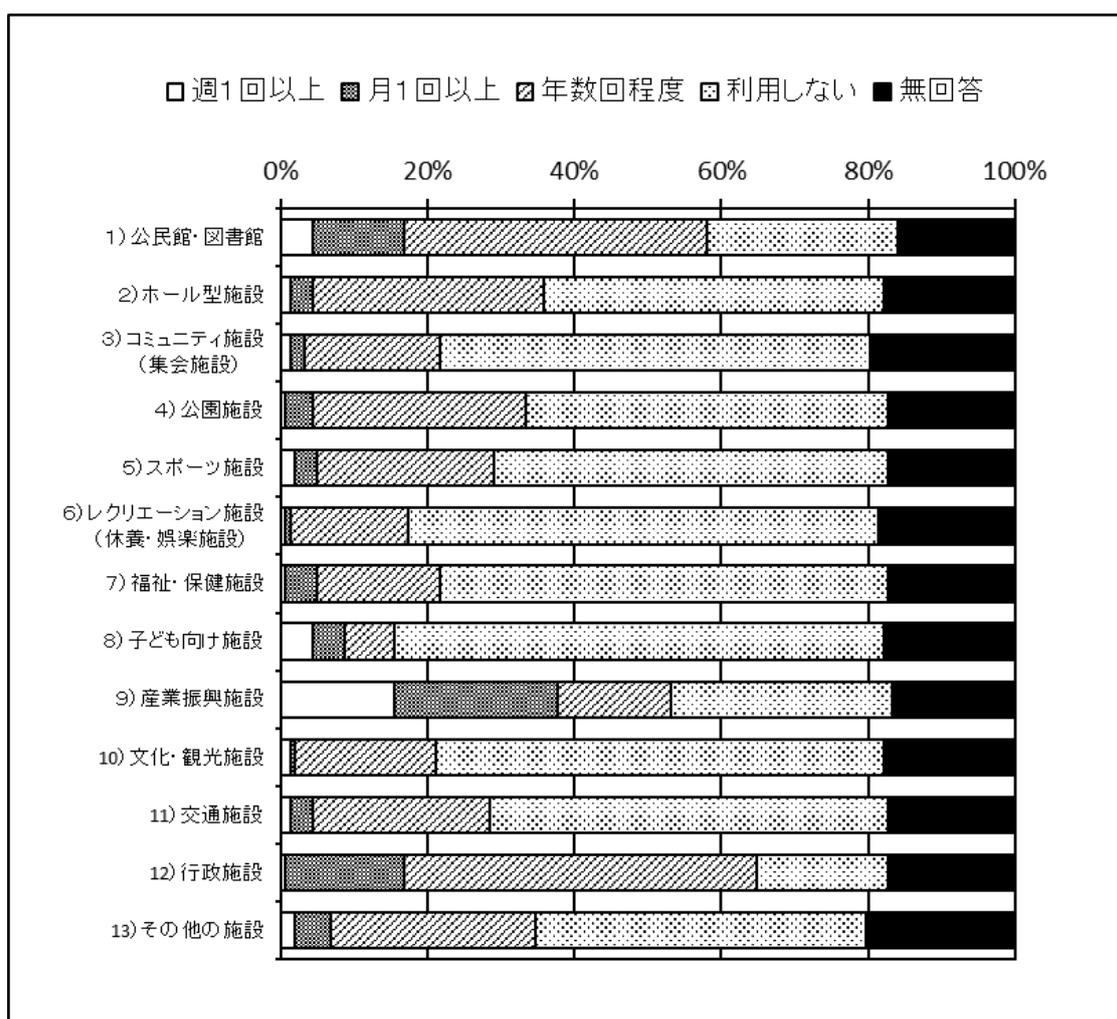


表 11 公共施設等の利用状況について（有効回答＝162、理由は複数回答可）

田平	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要（機会）がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス（手段）が不便である	利用時間帯が合わない	サービス内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	7 4.3	20 12.3	67 41.4	42 25.9	26 16.0	162 100	0	73 67.0	6 5.5	7 6.4	9 8.3	0 0.0	1 0.9	0 0.0	109
2) ホール型施設	2 1.2	5 3.1	51 31.5	75 46.3	29 17.9	162 100	0	95 75.4	6 4.8	1 0.8	6 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	126
3) コミュニティ施設 （集会施設）	2 1.2	3 1.9	30 18.5	95 58.6	32 19.8	162 100	0	101 80.8	7 5.6	2 1.6	5 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	125
4) 公園施設	1 0.6	6 3.7	47 29.0	80 49.4	28 17.3	162 100	0	96 75.6	5 3.9	8 6.3	4 3.1	1 0.8	4 3.1	3 2.4	127
5) スポーツ施設	3 1.9	5 3.1	39 24.1	87 53.7	28 17.3	162 100	0	99 78.6	6 4.8	3 2.4	5 4.0	2 1.6	3 2.4	3 2.4	126
6) レクリエーション施設 （休養・娯楽施設）	1 0.6	1 0.6	26 16.0	104 64.2	30 18.5	162 100	0	108 83.1	11 8.5	4 3.1	1 0.8	0 0.0	4 3.1	3 2.3	130
7) 福祉・保健施設	1 0.6	7 4.3	27 16.7	99 61.1	28 17.3	162 100	0	100 79.4	10 7.9	1 0.8	5 4.0	0 0.0	2 1.6	3 2.4	126
8) 子ども向け施設	7 4.3	7 4.3	11 6.8	108 66.7	29 17.9	162 100	0	103 86.6	7 5.9	2 1.7	4 3.4	0 0.0	0 0.0	1 0.8	119
9) 産業振興施設	25 15.4	36 22.2	25 15.4	49 30.2	27 16.7	162 100	0	55 74.3	3 4.1	4 5.4	1 1.4	0 0.0	1 1.4	4 5.4	74
10) 文化・観光施設	2 1.2	1 0.6	31 19.1	99 61.1	29 17.9	162 100	0	105 80.8	8 6.2	5 3.8	2 1.5	2 1.5	2 1.5	2 1.5	130
11) 交通施設	2 1.2	5 3.1	39 24.1	88 54.3	28 17.3	162 100	0	101 79.5	1 0.8	9 7.1	4 3.1	1 0.8	1 0.8	2 1.6	127
12) 行政施設	1 0.6	26 16.0	78 48.1	29 17.9	28 17.3	162 100	0	75 70.1	1 0.9	4 3.7	5 4.7	0 0.0	1 0.9	2 1.9	107
13) その他の施設	3 1.9	8 4.9	45 27.8	73 45.1	33 20.4	162 100	0	92 78.0	7 5.9	1 0.8	2 1.7	1 0.8	1 0.8	2 1.7	118

※上段：回答者数

※下段：有効回答者数に対する割合（％）

※上段：回答者数

※下段：年数回程度～利用しない回答者数に対する割合（％）

2.2.7 大島

公共施設種ごとの大島地区の利用状況は、「月一回以上」および「週一回以上」の回答が最も多い施設種は「交通施設」の66.6%、次いで、「行政施設」の47.6%、「公民館・図書館」の37.0%であり、「その他の施設」の29.6%を除き、他に20%を超える施設はなかった。一方、「年数回程度」および「利用しない」の回答が最も多い施設種は「公園施設」の74.0%、次いで、「ホール型施設」および「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」の70.3%、「文化・観光施設」の66.6%、「産業振興施設」の62.9%であった。

「年数回程度」および「利用しない」と回答した回答者の、「利用しない理由」に関する回答では、どの施設種も「利用する必要（機会）がない」が最も多く、80%を超えたものが「スポーツ施設」の93.8%、「レクリエーション施設（休養・娯楽施設）」および「子ども向け施設」の89.5%、「コミュニティ施設（集会施設）」の83.3%、「福祉・保健施設」の82.4%、「公園施設」の80.0%であった。また、「公民館・図書館」、「ホール型施設」および「産業振興施設」では、「交通アクセス（手段）が不便である」という意見が概ね20%あった。

図 8 公共施設等の利用状況について（有効回答 27）

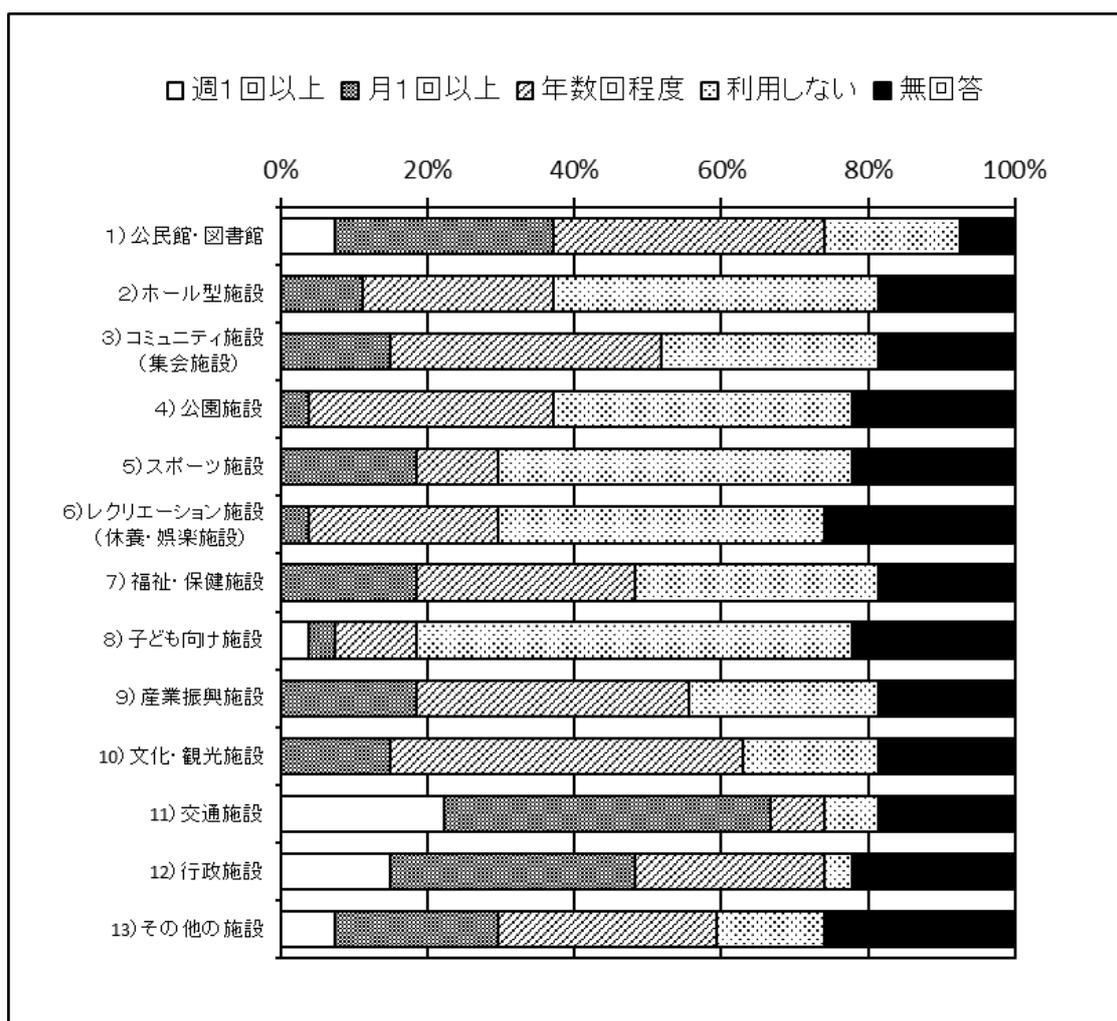


表 12 公共施設等の利用状況について（有効回答=27、理由は複数回答可）

田平	使用頻度							年数回程度～利用しない理由							
	週1回以上	月1回以上	年数回程度	利用しない	無回答	有効回答者数	無効回答	利用する必要（機会）がない	施設の存在やサービスの内容を知らない	交通アクセス（手段）が不便である	利用時間帯が合わない	サービスの内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設を利用している	同種の民間施設を利用している	年数回程度、利用しない回答者数
問1 公共施設等の利用状況について教えてください。															
1) 公民館・図書館	2	8	10	5	2	27	0	10	3	3	1	0	0	0	15
	7.4	29.6	37.0	18.5	7.4	100		66.7	20.0	20.0	6.7	0.0	0.0	0.0	
2) ホール型施設	0	3	7	12	5	27	0	15	0	4	0	0	0	0	19
	0.0	11.1	25.9	44.4	18.5	100		78.9	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
3) コミュニティ施設 （集会施設）	0	4	10	8	5	27	0	15	1	0	0	0	0	0	18
	0.0	14.8	37.0	29.6	18.5	100		83.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4) 公園施設	0	1	9	11	6	27	0	16	1	1	1	1	0	1	20
	0.0	3.7	33.3	40.7	22.2	100		80.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
5) スポーツ施設	0	5	3	13	6	27	0	15	1	1	0	0	0	0	16
	0.0	18.5	11.1	48.1	22.2	100		93.8	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
6) レクリエーション施設 （休養・娯楽施設）	0	1	7	12	7	27	0	17	0	1	0	0	0	0	19
	0.0	3.7	25.9	44.4	25.9	100		89.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
7) 福祉・保健施設	0	5	8	9	5	27	0	14	0	0	0	0	1	0	17
	0.0	18.5	29.6	33.3	18.5	100		82.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	
8) 子ども向け施設	1	1	3	16	6	27	0	17	0	0	1	0	0	0	19
	3.7	3.7	11.1	59.3	22.2	100		89.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	
9) 産業振興施設	0	5	10	7	5	27	0	10	0	3	1	0	0	0	17
	0.0	18.5	37.0	25.9	18.5	100		58.8	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	
10) 文化・観光施設	0	4	13	5	5	27	0	14	1	0	0	1	0	0	18
	0.0	14.8	48.1	18.5	18.5	100		77.8	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	
11) 交通施設	6	12	2	2	5	27	0	3	0	0	0	0	0	0	4
	22.2	44.4	7.4	7.4	18.5	100		75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
12) 行政施設	4	9	7	1	6	27	0	5	0	0	0	0	0	0	8
	14.8	33.3	25.9	3.7	22.2	100		62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13) その他の施設	2	6	8	4	7	27	0	9	0	0	0	0	0	0	12
	7.4	22.2	29.6	14.8	25.9	100		75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※上段：回答者数

※下段：有効回答者数に対する割合（%）

※上段：回答者数

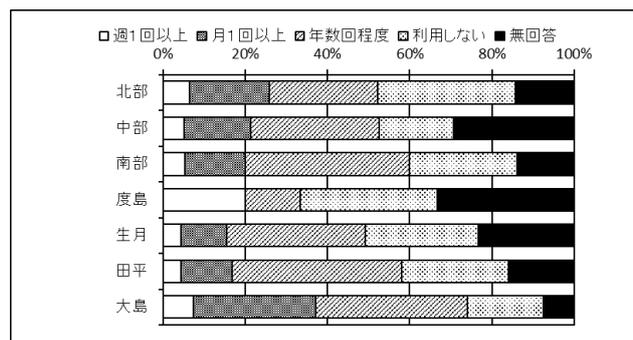
※下段：年数回程度～利用しない回答者数に対する割合（%）

2.3 地区別施設種別の公共施設の利用状況

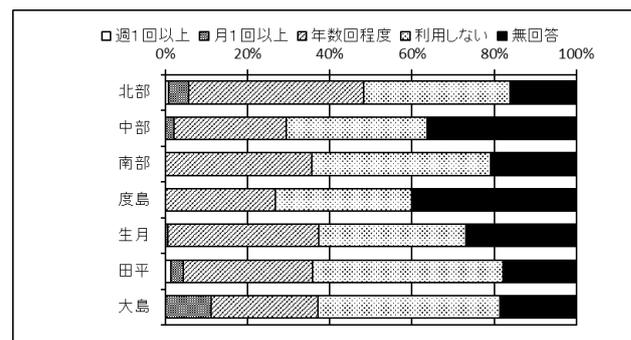
「公民館・図書館」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、37%の方が回答している。その他は概ね20%であった。

「ホール型施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、11%の方が回答している。次いで、北部地区が6%であった。

■公民館・図書館



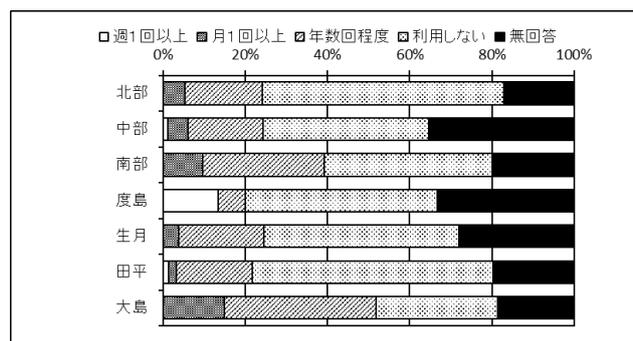
■ホール型施設



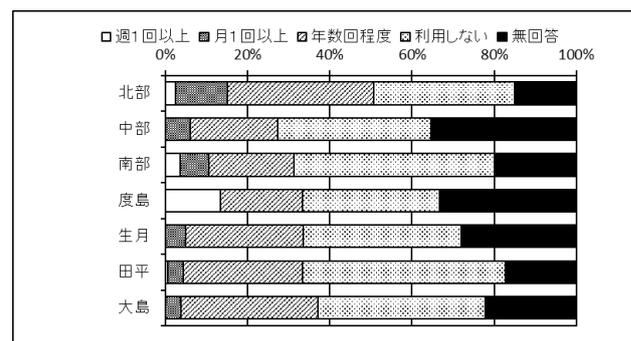
「コミュニティ施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、15%の方が回答している。次いで、南部地区が10%であった。

「公園施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、北部地区であり、15%の方が回答している。次いで、度島地区が13%であった。

■コミュニティ施設



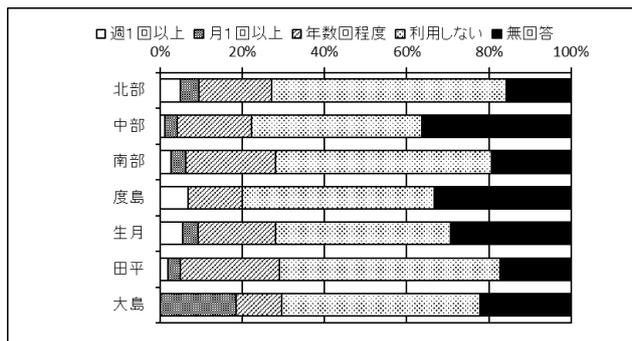
■公園施設



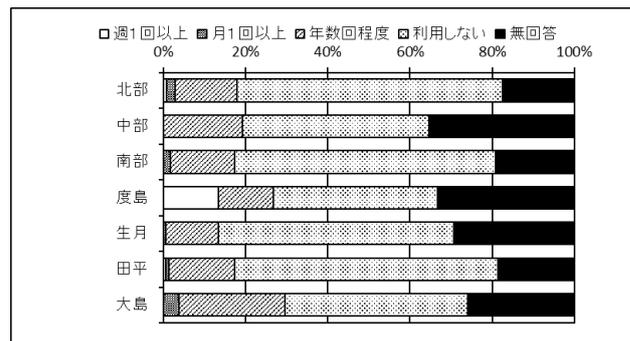
「スポーツ施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、19%の方が回答している。次いで、北部地区が10%であった。

「レクリエーション施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、度島地区であり、13%の方が回答している。次いで、大島地区が4%であった。

■スポーツ施設



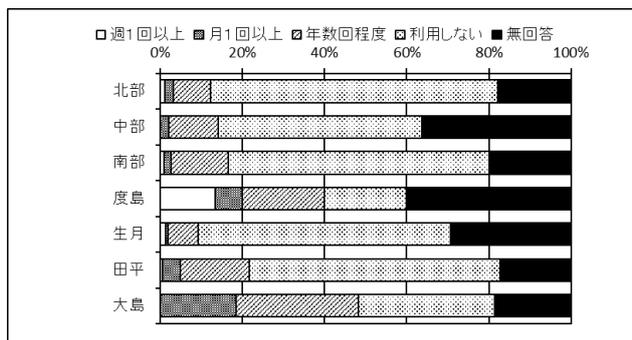
■レクリエーション施設



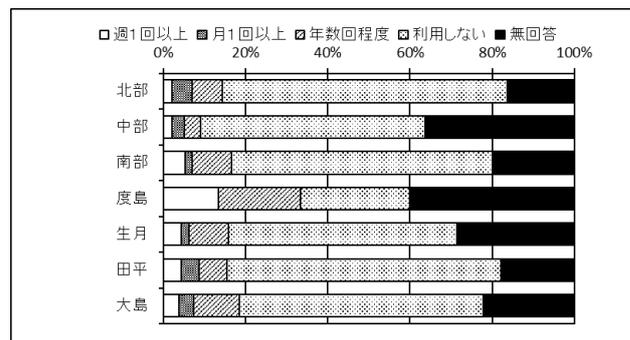
「福祉・保険施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、度島地区であり、20%の方が回答している。次いで、大島地区が19%であった。

「子ども向け施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、度島地区であり、13%の方が回答している。次いで、田平地区が8%であった。

■福祉・保健施設



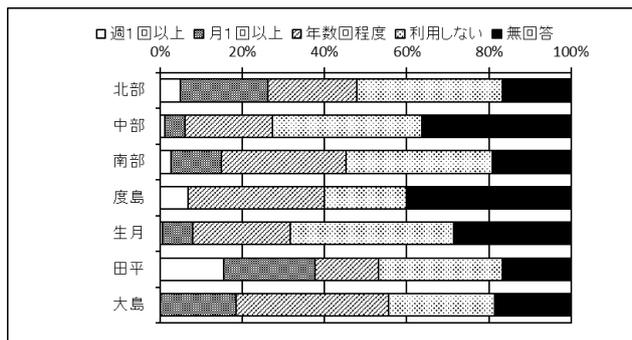
■子ども向け施設



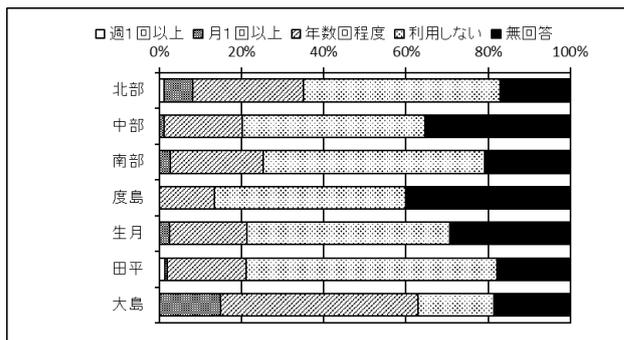
「産業振興施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、田平地区であり、38%の方が回答している。次いで、北部地区が26%であった。

「文化・観光施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、15%の方が回答している。次いで、北部地区が8%であった。

■産業振興施設



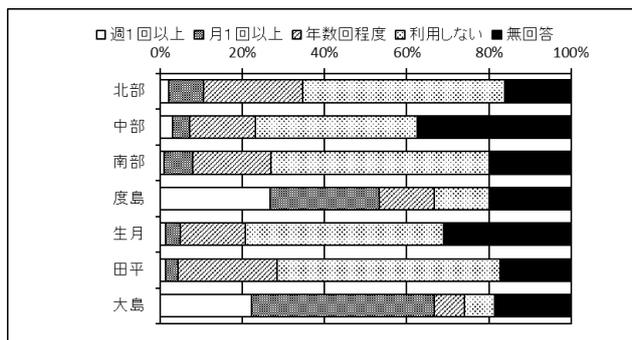
■文化・観光施設



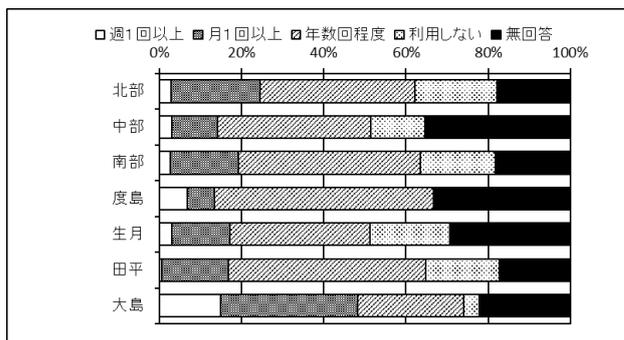
「交通施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、67%の方が回答している。次いで、度島地区が53%であった。

「行政施設」を週1回以上～月1回以上利用している回答が最も多い地区は、大島地区であり、48%の方が回答している。次いで、北部地区が25%であった。

■交通施設



■行政施設



3. 公共施設についての考え

3.1 問2 優先的に維持すべき公共施設の機能

優先的に維持すべき公共施設の機能について、最も回答が多かったのは「会議の場やコミュニティ（集会）活動等の交流の場に利用できる機能（集会機能）」の354人で有効回答者数（904人）の39.2%であった。次いで、「余暇を利用して行う遊びや楽しみを提供する機能（レクリエーション（休養・娯楽）機能）」の304人（33.6%）、「チーム（集団）や個人でスポーツ（運動）ができる機能（スポーツ機能）」の293人（32.4%）であった。

地区別では、北部地区が「観光機能」、中部地区、南部地区および生月地区が「集会機能」、離島である度島地区や大島地区では、「交通機能」や「産業支援機能」、田平地区が「スポーツ機能」について優先度が高い傾向となった。

「住宅機能」については、すべての地区で優先度が低い傾向となった。

図 9 優先的に維持すべき公共施設の機能について（有効回答=904、複数回答可）

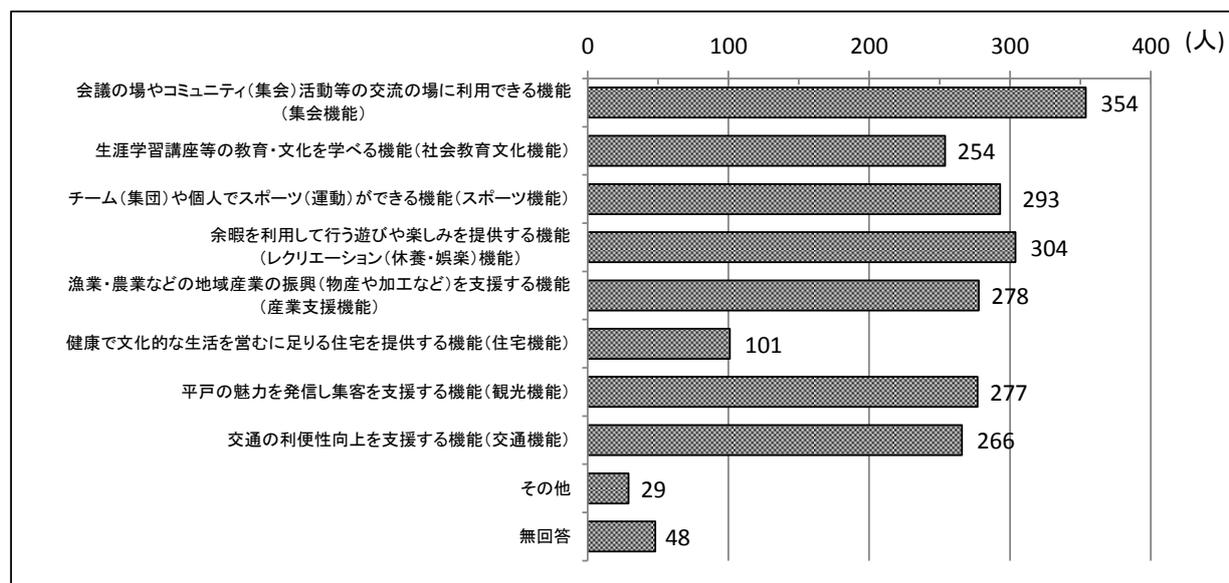
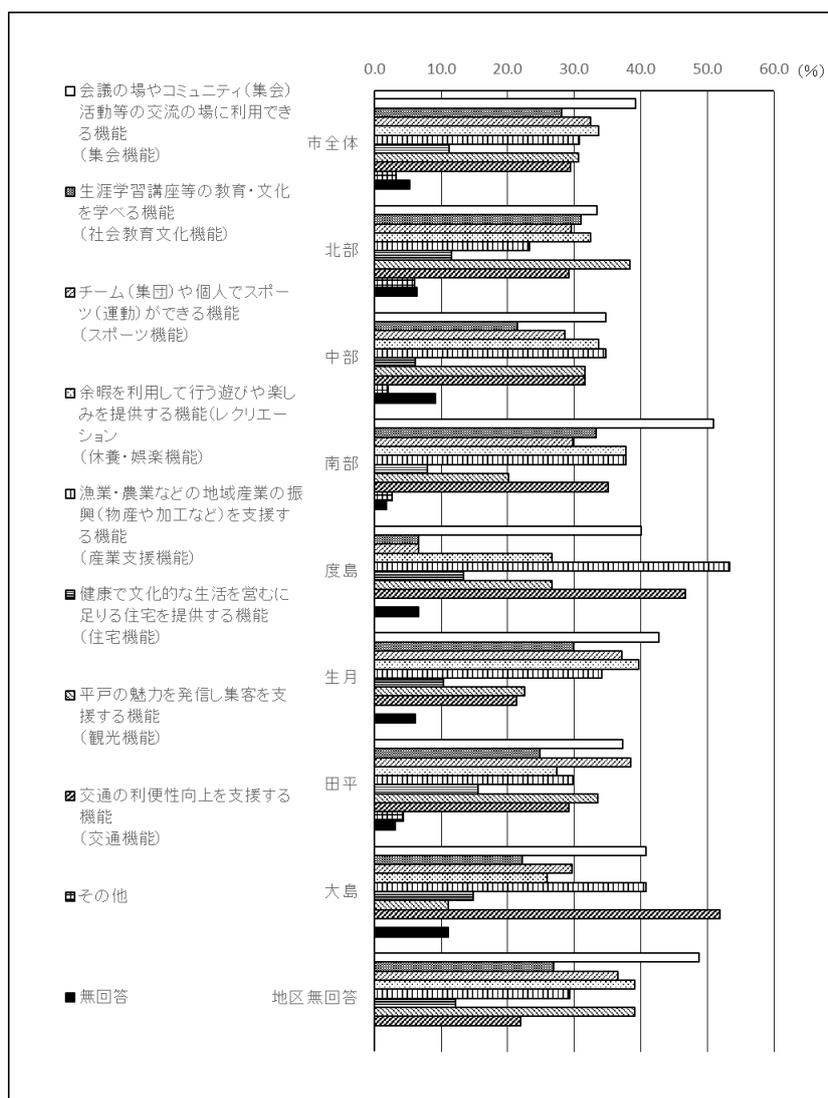


表 13 優先的に維持すべき公共施設の機能について（複数回答可）

問2. 公共施設は、どのような機能を優先的に維持または充実していくべきか？	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)														
会議の場やコミュニティ(集会)活動等の交流の場利用できる機能(集会機能)	354	39.2	95	33.5	34	34.7	58	50.9	6	40.0	70	42.7	60	37.3	11	40.7	20	48.8
生涯学習講座等の教育・文化を学べる機能(社会教育文化機能)	254	28.1	88	31.0	21	21.4	38	33.3	1	6.7	49	29.9	40	24.8	6	22.2	11	26.8
チーム(集団)や個人でスポーツ(運動)ができる機能(スポーツ機能)	293	32.4	84	29.6	28	28.6	34	29.8	1	6.7	61	37.2	62	38.5	8	29.6	15	36.6
余暇を利用して行う遊びや楽しみを提供する機能(レクリエーション(休養・娯楽)機能)	304	33.6	92	32.4	33	33.7	43	37.7	4	26.7	65	39.6	44	27.3	7	25.9	16	39.0
漁業・農業などの地域産業の振興(物産や加工など)を支援する機能(産業支援機能)	278	30.8	66	23.2	34	34.7	43	37.7	8	53.3	56	34.1	48	29.8	11	40.7	12	29.3
健康で文化的な生活を営むに足る住宅を提供する機能(住宅機能)	101	11.2	33	11.6	6	6.1	9	7.9	2	13.3	17	10.4	25	15.5	4	14.8	5	12.2
平戸の魅力を発信し集客を支援する機能(観光機能)	277	30.6	109	38.4	31	31.6	23	20.2	4	26.7	37	22.6	54	33.5	3	11.1	16	39.0
交通の利便性向上を支援する機能(交通機能)	266	29.4	83	29.2	31	31.6	40	35.1	7	46.7	35	21.3	47	29.2	14	51.9	9	22.0
その他	29	3.2	17	6.0	2	2.0	3	2.6	0	0.0	0	0.0	7	4.3	0	0.0	0	0.0
無回答	48	5.3	18	6.3	9	9.2	2	1.8	1	6.7	10	6.1	5	3.1	3	11.1	0	0.0
有効回答数	904		284		98		114		15		164		161		27		41	
無効回答	6		2		1		1		0		0		1		0		1	

※有効回答=合計:904、北部:285、中部:98、南部:115、度島:15、生月:164、田平:161、大島:27、地区無回答:41

図 10 地区毎の優先的に維持すべき公共施設の機能について



※有効回答=合計:904、北部:285、中部:98、南部:115、度島:15、生月:164、田平:161、大島:27、地区無回答:41

3.2 問3 将来的に優先して見直すべき施設

将来的に優先して見直すべき施設について、最も回答が多かったのは「利用者が少ない施設」の482人で有効回答者数(902人)の53.4%であった。次いで、「建物・設備が古く老朽化した施設」の362人(40.1%)、「市民のニーズ(要望・需要)に合っていない施設」の349人(38.7%)、「維持管理費の高い施設」の347人(38.5%)であった。

地区別では、中部地区および大島地区を除くすべての地区が「利用者が少ない施設」が最も多い回答であった。また、中部地区および大島地区は「建物・設備が古く老朽化した施設」が最も多かった。

図 11 将来的に優先して見直すべき施設について(有効回答=902、複数回答可)

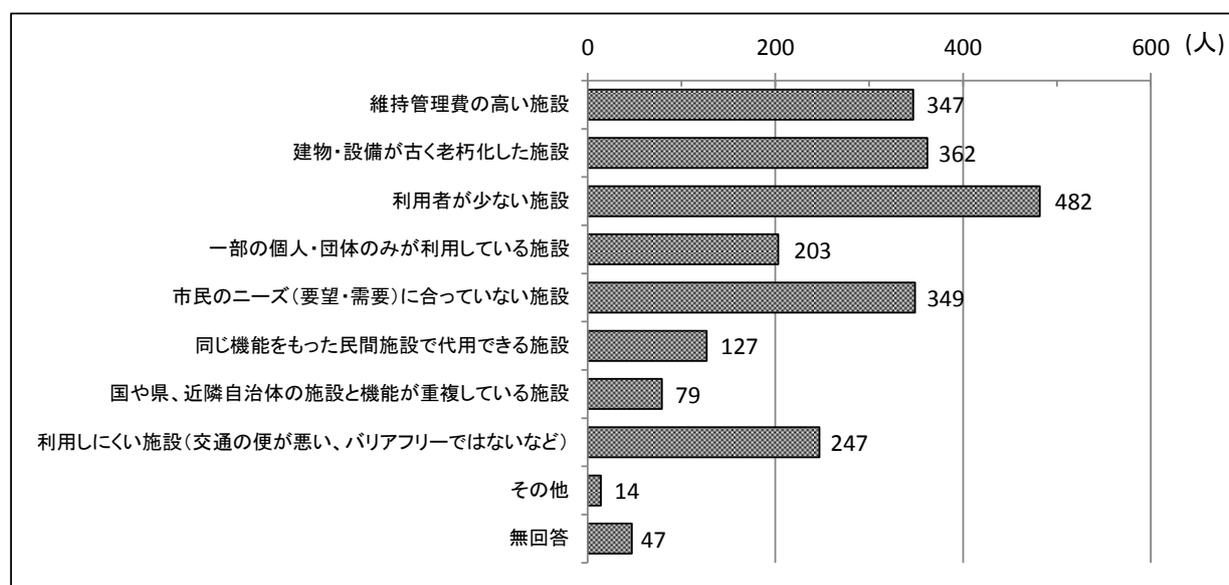
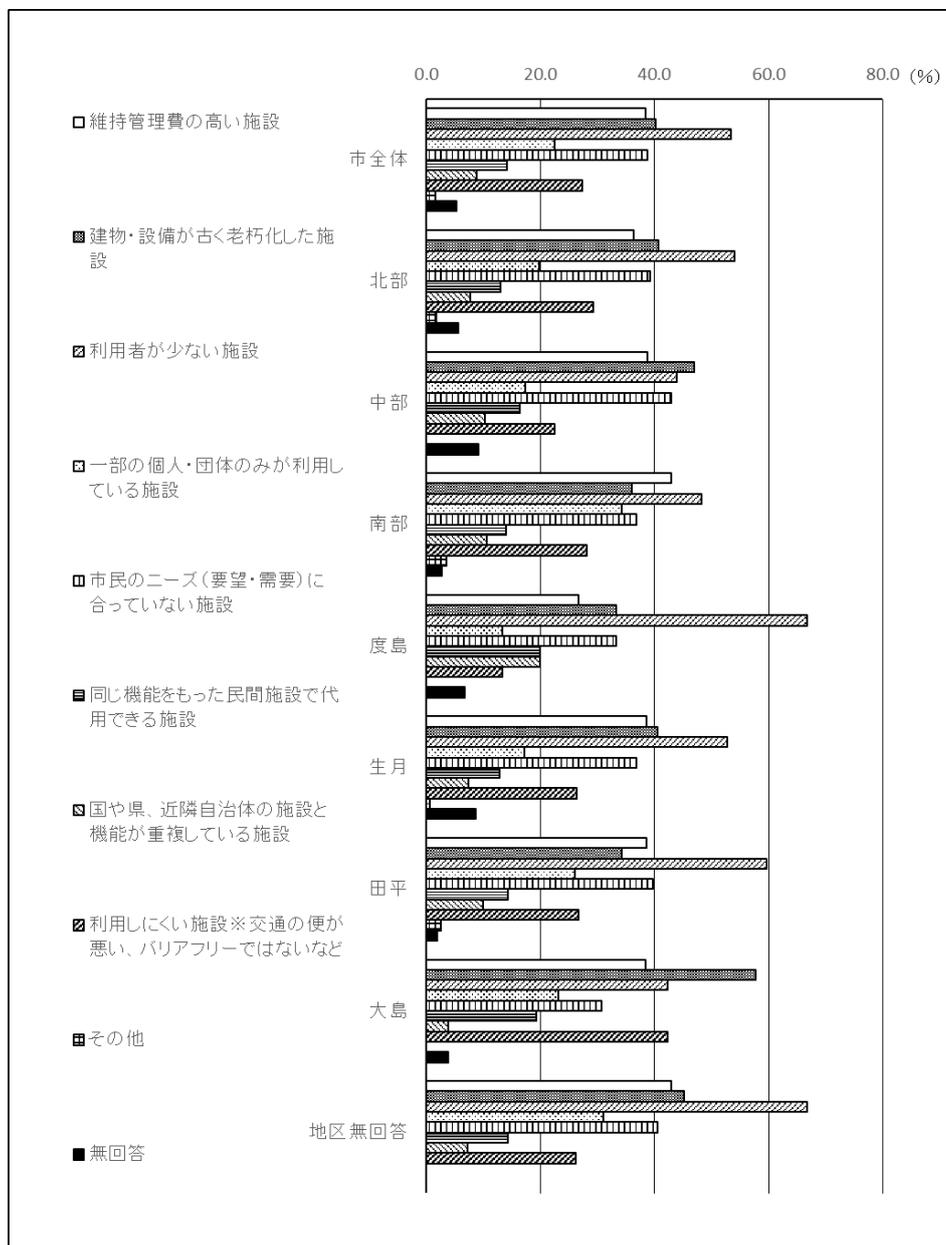


表 14 地区別の将来的に優先して見直すべき施設について

問3. 将来的に、どのような施設を優先的に見直すべきか？	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)														
維持管理費の高い施設	347	38.5	103	36.4	38	38.8	49	43.0	4	26.7	63	38.7	62	38.5	10	38.5	18	42.9
建物・設備が古く老朽化した施設	362	40.1	115	40.6	46	46.9	41	36.0	5	33.3	66	40.5	55	34.2	15	57.7	19	45.2
利用者が少ない施設	482	53.4	153	54.1	43	43.9	55	48.2	10	66.7	86	52.8	96	59.6	11	42.3	28	66.7
一部の個人・団体のみが利用している施設	203	22.5	56	19.8	17	17.3	39	34.2	2	13.3	28	17.2	42	26.1	6	23.1	13	31.0
市民のニーズ(要望・需要)に合っていない施設	349	38.7	111	39.2	42	42.9	42	36.8	5	33.3	60	36.8	64	39.8	8	30.8	17	40.5
同じ機能をもった民間施設で代用できる施設	127	14.1	37	13.1	16	16.3	16	14.0	3	20.0	21	12.9	23	14.3	5	19.2	6	14.3
国や県、近隣自治体の施設と機能が重複している施設	79	8.8	22	7.8	10	10.2	12	10.5	3	20.0	12	7.4	16	9.9	1	3.8	3	7.1
利用しにくい施設※交通の便が悪い、バリアフリーではないなど	247	27.4	83	29.3	22	22.4	32	28.1	2	13.3	43	26.4	43	26.7	11	42.3	11	26.2
その他	14	1.6	5	1.8	0	0.0	4	3.5	0	0.0	1	0.6	4	2.5	0	0.0	0	0.0
無回答	47	5.2	16	5.7	9	9.2	3	2.6	1	6.7	14	8.6	3	1.9	1	3.8	0	0.0
有効回答数	902		283		98		114		15		163		161		26		42	
無効回答	8		3		1		1		0		1		1		1		0	

図 12 地区別の将来的に優先して見直すべき施設について



※有効回答=合計:902、北部:283、中部:98、南部:114、度島:15、生月:163、田平:161、大島:26、地区無回答:42

3.3 問4 公共施設の修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況に対する認知

公共施設の修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況に対する市民の認知について、「よく知っていた」と回答した回答者が 18.1%、「少しは知っていた」が 48.4%、「ほとんど知らなかった」が 21.8%、「まったく知らなかった」が 9.0%であった。「よく知っていた」「少しは知っていた」の合計では 66.5%で、市民の 6 割以上がこの状況について認知をしていた。

地区別では大島地区の認知度が高く、度島地区で認知度が低かったものの、他の地区は同程度の認知度であり、「よく知っていた」と「少しは知っていた」を合わせると 6 割強であった。

図 13 公共施設の修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況に対する認知（有効回答=910）

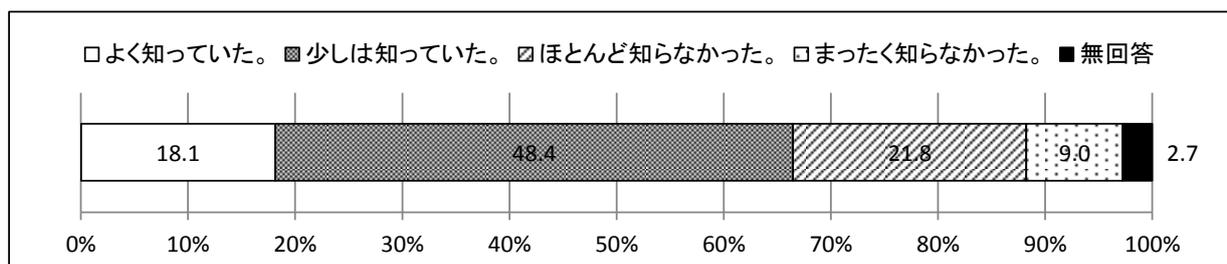
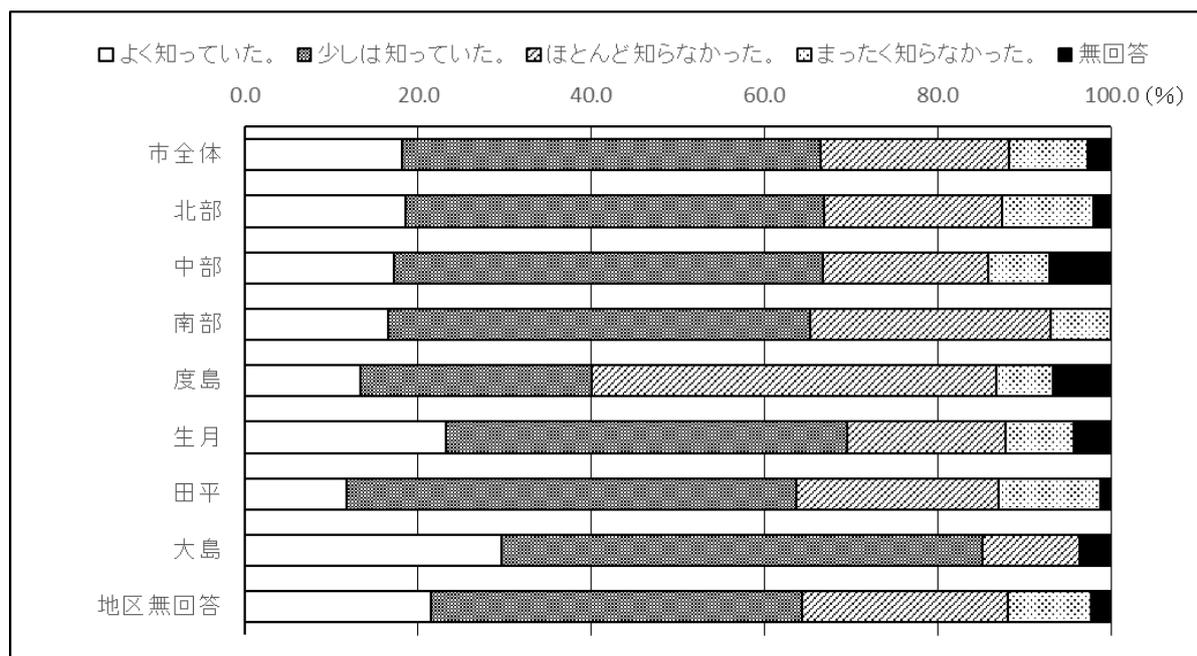


表 15 地区別の公共施設の修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況に対する認知

問4. 公共施設の老朽化が進んでおり、今後、修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況を知っていたか？	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)														
よく知っていた。	165	18.1	53	18.5	17	17.2	19	16.5	2	13.3	38	23.2	19	11.7	8	29.6	9	21.4
少しは知っていた。	440	48.4	138	48.3	49	49.5	56	48.7	4	26.7	76	46.3	84	51.9	15	55.6	18	42.9
ほとんど知らなかった。	198	21.8	59	20.6	19	19.2	32	27.8	7	46.7	30	18.3	38	23.5	3	11.1	10	23.8
まったく知らなかった。	82	9.0	30	10.5	7	7.1	8	7.0	1	6.7	13	7.9	19	11.7	0	0.0	4	9.5
無回答	25	2.7	6	2.1	7	7.1	0	0.0	1	6.7	7	4.3	2	1.2	1	3.7	1	2.4
有効回答数	910		286		99		115		15		164		162		27		42	
無効回答	0		0		0		0		0		0		0		0		0	

図 14 地区別の公共施設の修繕や建替えに多くの財政負担を伴う状況に対する認知



※有効回答=合計:910、北部:286、中部:99、南部:115、度島:15、生月:164、田平:162、大島:26、地区無回答:42

3.4 問5 将来維持が困難となる公共施設に対する施策

すべての施設を維持することが困難になることに対する対策について、最も回答が多かったのは「公共施設を様々な角度から必要性を見直し、人口や税収に見合う範囲の公共施設の量に再編していく。」の70.8%であった。次いで、「現在の市民負担で維持できる範囲の公共施設の量に減らしていく。」の20.5%であった。

地区別では度島地区を除き、「公共施設の再編」が最も多い回答であった。度島地区は「負担が増えても現状維持」が最も多かった。

図 15 すべての施設を維持することが困難になることに対する対策（有効回答=906）

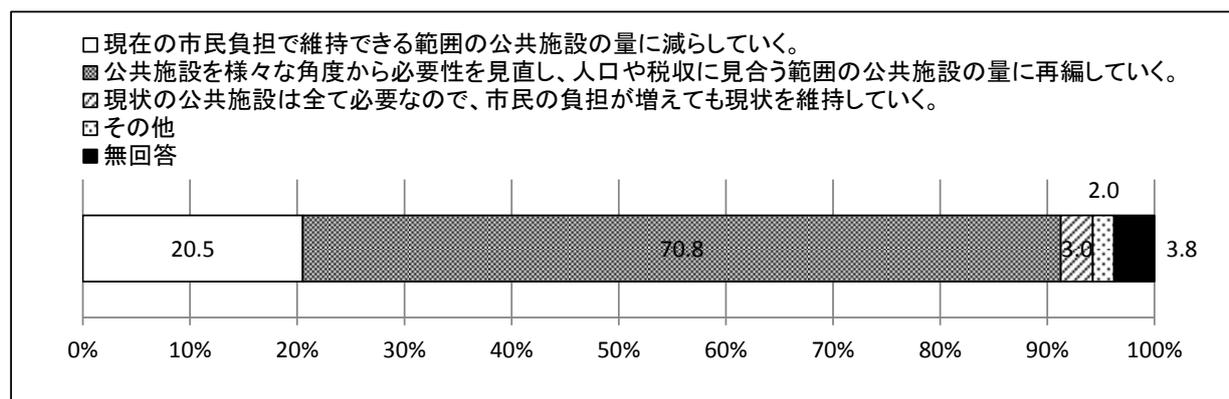
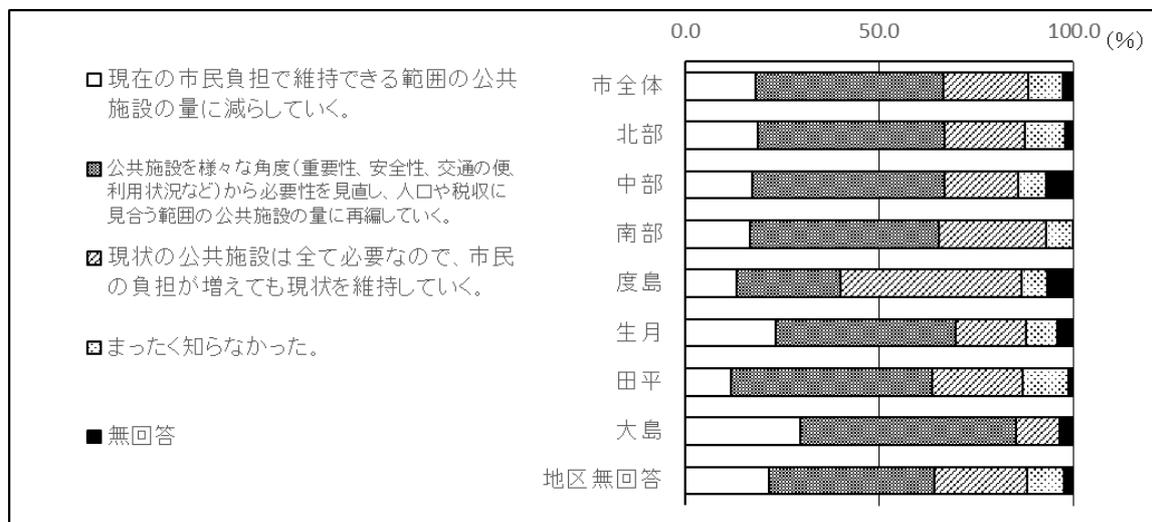


表 16 地区別のすべての施設を維持することが困難になることに対する対策

問5. 今後、人口と税収の減少により、すべての施設を維持することが困難になる見込みである。これらの対策は？	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)														
現在の市民負担で維持できる範囲の公共施設の量に減らしていく。	186	20.5	64	22.5	18	18.2	30	26.3	3	20.0	36	22.1	24	14.9	4	14.8	7	16.7
公共施設を様々な角度(重要性、安全性、交通の便、利用状況など)から必要性を見直し、人口や税収に見合う範囲の公共施設の量に再編していく。	641	70.8	198	69.5	66	66.7	75	65.8	10	66.7	114	69.9	126	78.3	20	74.1	32	76.2
現状の公共施設は全て必要なので、市民の負担が増えても現状を維持していく。	27	3.0	6	2.1	4	4.0	5	4.4	0	0.0	5	3.1	4	2.5	2	7.4	1	2.4
その他	18	2.0	7	2.5	2	2.0	2	1.8	0	0.0	2	1.2	4	2.5		0.0	1	2.4
無回答	34	3.8	10	3.5	9	9.1	2	1.8	2	13.3	6	3.7	3	1.9	1	3.7	1	2.4
有効回答数	906		285		99		114		15		163		161		27		42	
無効回答	4		1		0		1		0		1		1		0		0	

図 16 地区別のすべての施設を維持することが困難になることに対する対策



※有効回答=合計:906、北部:285、中部:99、南部:114、度島:15、生月:163、田平:161、大島:27、地区無回答:42

3.5 問6 公共施設を適切に管理運営していくための方針

3.5.1 (ア)公共施設そのものに対する取組み方針

公共施設を適切に管理運営していくための方針における、公共施設そのものに対する取組み方針について、最も回答が多かったのは「利用されていない施設や土地の一部を売却・賃貸して新たな財源を確保する。」の594人で有効回答者数(909人)の65.3%であった。次いで、「統廃合、複合化による機能集約を推進し、施設を再編する。」の459人(50.5%)、「施設をこまめに修繕しながら長持ちさせ、可能な限り長く利用する。」の344人(37.8%)、「規模の大きな施設を小さくし、維持管理費を削減する。」の334人(36.7%)であった。

地区別では、大島地区を除き、すべての地区で「新たな財源を確保する」が最も多く、次いで、「統廃合・複合化」の回答が多かった。大島地区は「統廃合・複合化」の回答が最も多かった。

図 17 公共施設を適切に管理運営していくための方針
公共施設そのものに対する取組み方針 (有効回答=909、複数回答可)

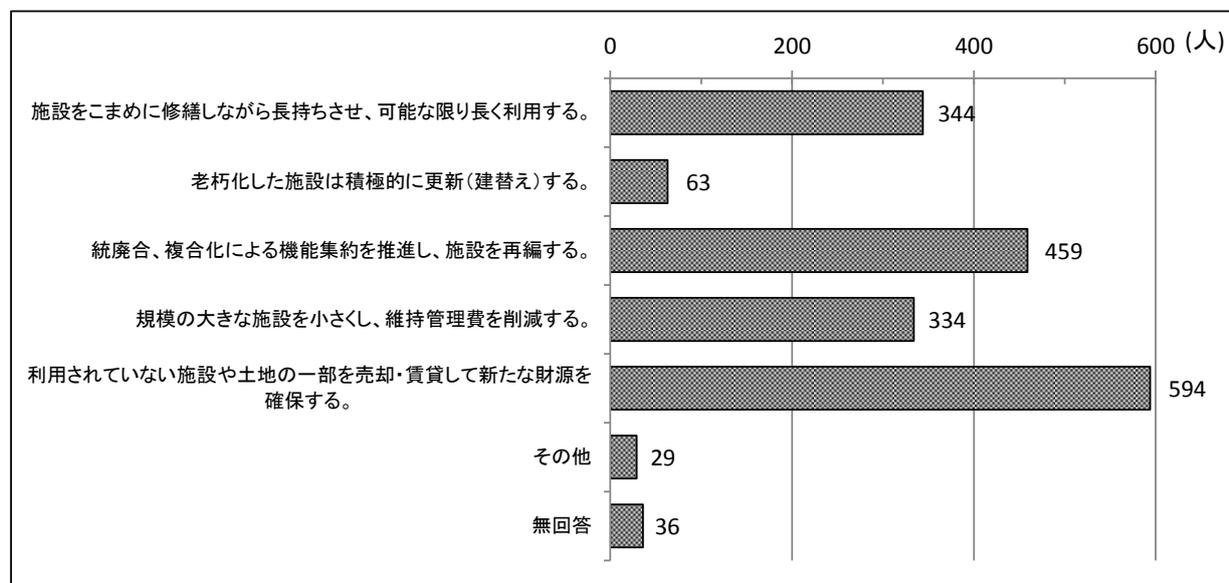
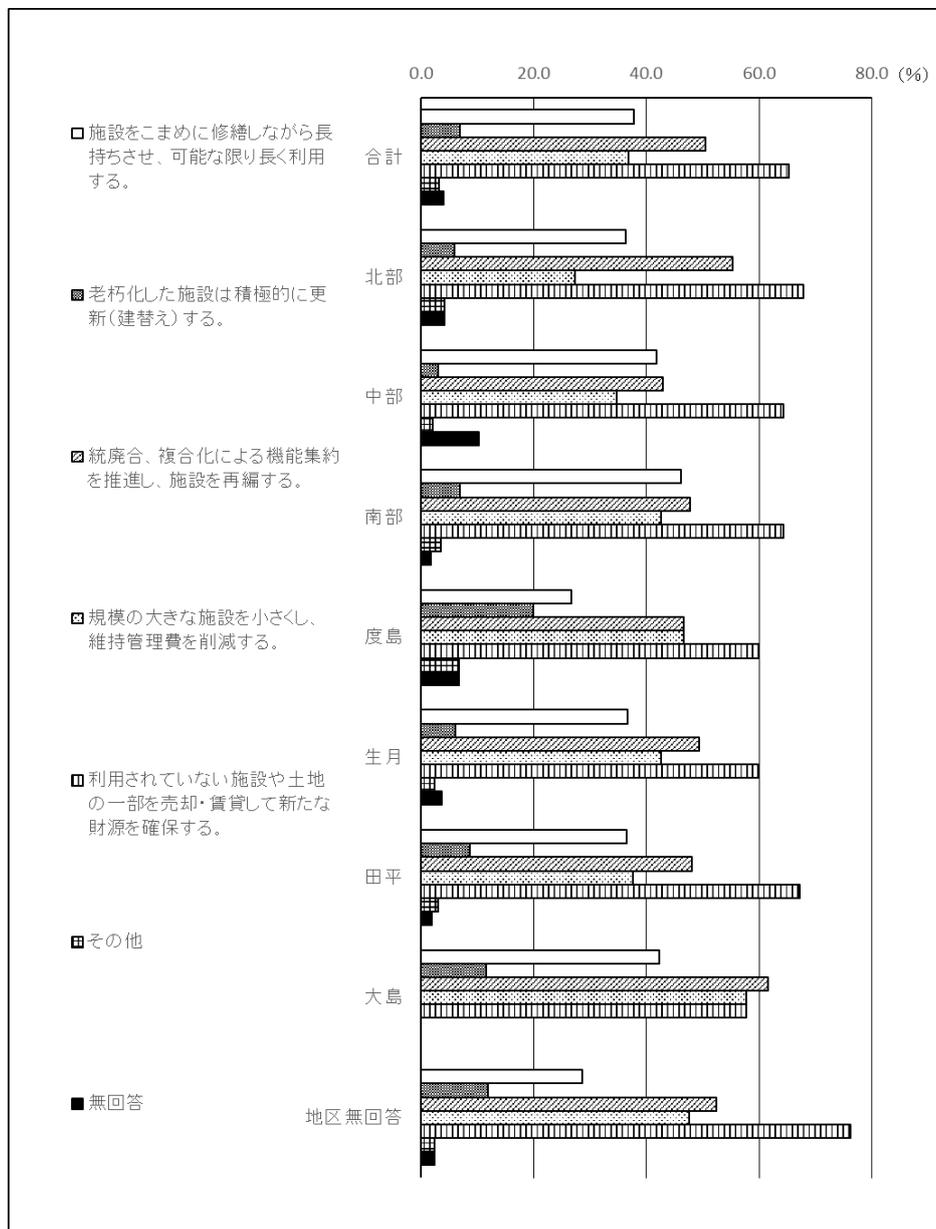


表 17 公共施設を適切に管理運営していくための方針
地区別の公共施設そのものに対する取組み方針

問6. 公共施設を適切に管理運営していくための方針は？ (ア)公共施設そのものに対する取組み方針	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)														
施設をこまめに修繕しながら長持ちさせ、可能な限り長く利用する。	344	37.8	104	36.4	41	41.8	53	46.1	4	26.7	60	36.6	59	36.4	11	42.3	12	28.6
老朽化した施設は積極的に更新(建替え)する。	63	6.9	17	5.9	3	3.1	8	7.0	3	20.0	10	6.1	14	8.6	3	11.5	5	11.9
統廃合、複合化による機能集約を推進し、施設を再編する。	459	50.5	158	55.2	42	42.9	55	47.8	7	46.7	81	49.4	78	48.1	16	61.5	22	52.4
規模の大きな施設を小さくし、維持管理費を削減する。	334	36.7	78	27.3	34	34.7	49	42.6	7	46.7	70	42.7	61	37.7	15	57.7	20	47.6
利用されていない施設や土地の一部を売却・賃貸して新たな財源を確保する。	594	65.3	194	67.8	63	64.3	74	64.3	9	60.0	98	59.8	109	67.3	15	57.7	32	76.2
その他	29	3.2	12	4.2	2	2.0	4	3.5	1	6.7	4	2.4	5	3.1	0	0.0	1	2.4
無回答	36	4.0	12	4.2	10	10.2	2	1.7	1	6.7	6	3.7	3	1.9	0	0.0	1	2.4
有効回答数	909		286		98		115		15		164		162		26		42	
無効回答	1		0		1		0		0		0		0		1		0	

図 18 公共施設を適切に管理運営していくための方針
地区別の公共施設そのものに対する取組み方針



※有効回答=合計:909、北部:286、中部:98、南部:115、度島:15、生月:164、田平:162、大島:26、地区無回答:42

3.5.2 (イ)公共施設のサービス・運営に対する取組み方針

公共施設を適切に管理運営していくための方針における、公共施設のサービス・運営に対する取組み方針について、最も回答が多かったのは「施設を増やさずに、類似した民間施設の利用に対して市が助成を行う。」の470人で有効回答者数(909人)の51.7%であった。次いで、「地域活動の拠点となる施設の管理運営を地域の住民等に任せる。」の258人(28.4%)、「施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウ(知識)や資金を活用する。」の254人(27.9%)であった。

地区別では、すべての地区が「民間施設の利用に市が助成する」の回答が最も多かった。また、度島地区では他の地区と比べて「サービスの水準を下げる」の回答が少ない一方で、「利用料金を引き上げる」という回答が多く、負担が大きくなっても現状を維持したいという傾向がみられた。

図 19 公共施設を適切に管理運営していくための方針
公共施設のサービス・運営に対する取組み方針(有効回答=909、複数回答可)

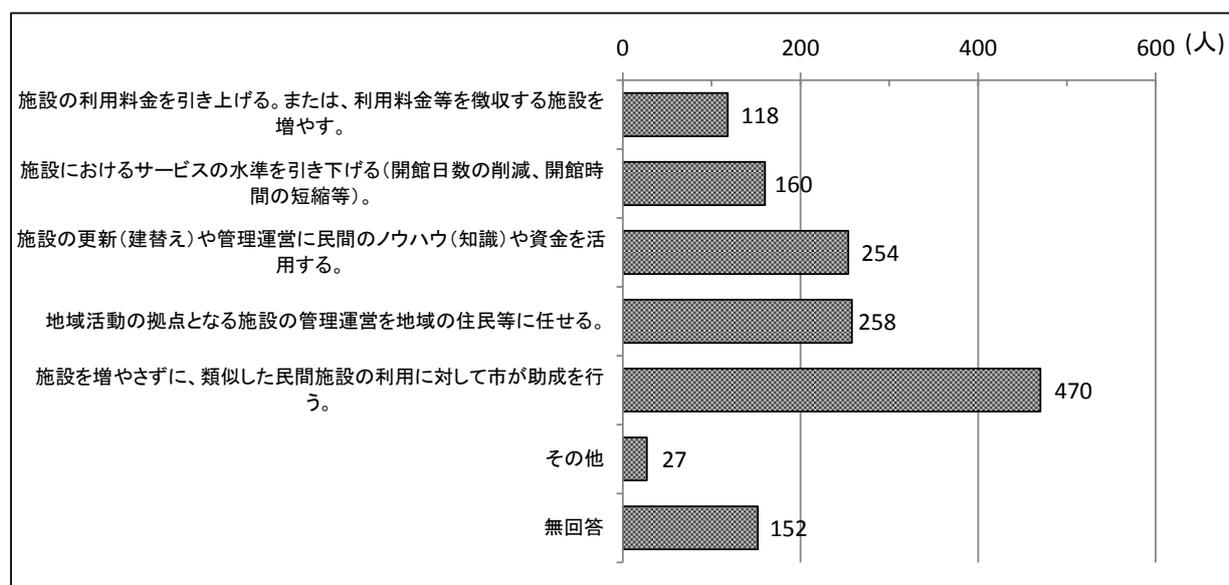
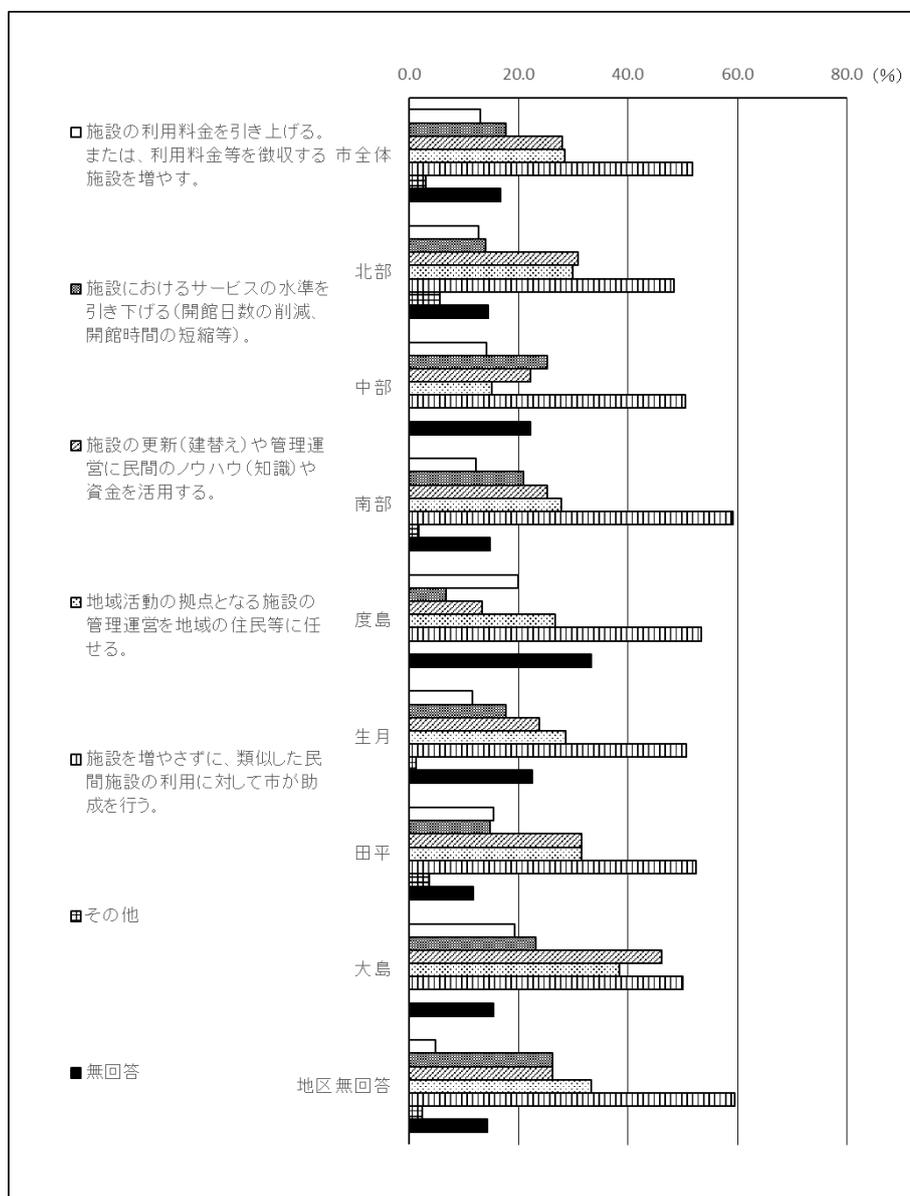


表 18 公共施設を適切に管理運営していくための方針
公共施設のサービス・運営に対する取組み方針

問6. 公共施設を適切に管理運営していくための方針は？ (イ) 公共施設のサービス・運営に対する取組み方針	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合 (%)	回答者数	割合 (%)														
施設の利用料金を引き上げる。または、利用料金を徴収する施設を増やす。	118	13.0	36	12.6	14	14.1	14	12.2	3	20.0	19	11.6	25	15.4	5	19.2	2	4.8
施設におけるサービスの水準を引き下げる(開館日数の削減、開館時間の短縮等)。	160	17.6	40	14.0	25	25.3	24	20.9	1	6.7	29	17.7	24	14.8	6	23.1	11	26.2
施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウ(知識)や資金を活用する。	254	27.9	88	30.9	22	22.2	29	25.2	2	13.3	39	23.8	51	31.5	12	46.2	11	26.2
地域活動の拠点となる施設の管理運営を地域の住民等に任せる。	258	28.4	85	29.8	15	15.2	32	27.8	4	26.7	47	28.7	51	31.5	10	38.5	14	33.3
施設を増やさずに、類似した民間施設の利用に対して市が助成を行う。	470	51.7	138	48.4	50	50.5	68	59.1	8	53.3	83	50.6	85	52.5	13	50.0	25	59.5
その他	27	3.0	16	5.6	0	0.0	2	1.7	0	0.0	2	1.2	6	3.7	0	0.0	1	2.4
無回答	152	16.7	41	14.4	22	22.2	17	14.8	5	33.3	37	22.6	19	11.7	4	15.4	6	14.3
有効回答数	909		285		99		115		15		164		162		26		42	
無効回答数	1		1		0		0		0		0		0		1		0	

図 20 公共施設を適切に管理運営していくための方針
地区別の公共施設のサービス・運営に対する取組み方針



※有効回答=合計:909、北部:285、中部:99、南部:115、度島:15、生月:164、田平:162、大島:26、地区無回答:42

3.6 問7 今後施設の統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設名とその理由

今後施設の統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、公共施設の分類別でみると「公民館・図書館」および「子ども向け施設」がともに42人で最も回答者が多く、次いで、「文化・観光施設」の23人、「行政施設」の21人であった。単独の施設では、「田平町民センター」が11人で最も回答者が多く、次いで、「離島開発総合センター」の7人、「生月中央公民館」の6人であった。回答の詳細は別紙1参照。

表 19 今後施設の統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設

公共施設の分類	回答数	回答数が4つ以上の施設
公民館・図書館	42	田平町民センター(11)、離島開発総合センター(7)、生月中央公民館(6)、平戸図書館(5)
ホール型施設	2	-
コミュニティ施設	14	-
公園施設	13	-
スポーツ施設	12	-
レクリエーション施設	10	紙すきの里ふれあい施設(5)
福祉・保健施設	6	-
子ども向け施設	42	-
産業振興施設	3	-
文化・観光施設	23	平戸オランダ商館(5)、鄭成功記念館(5)
交通施設	3	-
行政施設	21	田平支所(8)、生月支所(4)、平戸市役所(4)
その他の施設	7	-
施設に対する一般的意見	6	-
調査範囲外の施設	15	-

北部地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「公民館・図書館」が16人で最も回答者が多く、次いで、「子ども向け施設」の12人、「文化・観光施設」の9人であった。単独の施設では、「田平町民センター」および「平戸オランダ商館」が5人で最も回答者が多かった。

北部

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	16	田平町民センター(5)、離島開発総合センター(3)、平戸図書館(3)
ホール型施設	2	平戸文化センター(2)
コミュニティ施設	6	-
公園施設	6	京崎公園(2)
スポーツ施設	5	シーライフ平戸(2)
レクリエーション施設	4	紙すきの里ふれあい施設(2)
福祉・保健施設	1	-
子ども向け施設	12	-
産業振興施設	2	-
文化・観光施設	9	平戸オランダ商館(5)、年築造倉庫(3)、鄭成功記念館(3)
交通施設	1	-
行政施設	7	田平支所(3)、平戸市役所(2)
その他の施設	1	-
施設に対する一般的意見	2	-
調査範囲外の施設	6	-

中部地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「子ども向け施設」が5人で最も回答者が多く、次いで、「公民館・図書館」の4人であった。また、単独の施設の回答はなかった。

中部

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	4	-
ホール型施設	0	-
コミュニティー施設	1	-
公園施設	2	-
スポーツ施設	2	-
レクリエーション施設	2	-
福祉・保健施設	0	-
子ども向け施設	5	-
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	2	-
交通施設	0	-
行政施設	1	-
その他の施設	2	-
施設に対する一般的意見	2	-
調査範囲外の施設	5	-

南部地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「子ども向け施設」が9人で最も回答者が多く、次いで、「文化・観光施設」の5人、「公民館・図書館」の4人であった。単独の施設では、「早福町へき地保育所」が2人であった。

南部

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	4	-
ホール型施設	0	-
コミュニティー施設	3	-
公園施設	1	-
スポーツ施設	1	-
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	1	-
子ども向け施設	9	早福町へき地保育所(2)
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	5	-
交通施設	0	-
行政施設	1	-
その他の施設	0	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	3	-

度島地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「文化・観光施設」が1人のみであった。

度島

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	0	-
ホール型施設	0	-
コミュニティー施設	0	-
公園施設	0	-
スポーツ施設	0	-
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	0	-
子ども向け施設	0	-
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	1	-
交通施設	0	-
行政施設	0	-
その他の施設	0	-
施設に対する一般的意見	1	-
調査範囲外の施設	1	-

生月地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「公民館・図書館」が9人で最も回答者が多く、次いで、「子ども向け施設」の8人、「行政施設」の5人であった。単独の施設では、「生月中央公民館」が5人、「離島開発総合センター」および「生月町小学校」が3人であった。

生月

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	9	生月中央公民館(5)、離島開発総合センター(3)
ホール型施設	0	-
コミュニティー施設	3	-
公園施設	0	-
スポーツ施設	2	生月町B&G 海洋センター(2)
レクリエーション施設	2	-
福祉・保健施設	1	-
子ども向け施設	8	生月小学校(3)
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	1	-
交通施設	1	-
行政施設	5	生月支所(2)、平戸市役所(2)
その他の施設	2	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	1	-

田平地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「公民館・図書館」が8人で最も回答者が多く、次いで、「行政施設」の7人、「公園施設」および「子ども向け施設」の4人であった。単独の施設では、「田平町民センター」が5人、「田平支所」が4人であった。

田平

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	8	田平町民センター(5)
ホール型施設	0	-
コミュニティー施設	1	-
公園施設	4	城山公園(2)
スポーツ施設	2	-
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	2	-
子ども向け施設	4	-
産業振興施設	1	-
文化・観光施設	3	たびら昆虫自然園(2)
交通施設	1	-
行政施設	7	田平支所(4)
その他の施設	1	-
施設に対する一般的意見	1	-
調査範囲外の施設	0	-

大島地区では、統廃合、複合化、機能の集約を行っても良いと考える施設について、「子ども向け施設」が2人で最も回答者が多かった。また、単独の施設は回答がなかった。

大島

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	1	-
ホール型施設	0	-
コミュニティー施設	0	-
公園施設	0	-
スポーツ施設	0	-
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	1	-
子ども向け施設	2	-
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	1	-
交通施設	0	-
行政施設	0	-
その他の施設	0	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	0	-

3.7 問8 今後も維持すべきであるとする施設名とその理由

今後も維持すべきであるとする施設について、公共施設の分類別でみると「公民館・図書館」が98人で最も回答者が多く、次いで、「ホール型施設」の34人、「スポーツ施設」の33人、「文化・観光施設」および「行政施設」がともに25人であった。単独の施設では、「平戸文化センター」が28人で最も回答者が多く、次いで、「平戸図書館」の20人、「ふれあいセンター」が14人、「生月中央公民館」の10人、「田平町民センター」および「総合公園ライフカントリー」がともに9人、「平戸瀬戸市場」および「平戸城」がともに8人、「多目的研修センター」および「シーライフひらど」が7人であった。回答の詳細は別紙2参照。

表 20 今後も維持すべきであるとする施設

公共施設の分類	回答数	回答数が4つ以上の施設
公民館・図書館	98	平戸図書館(20)、ふれあいセンター(14)、生月中央公民館(10)、田平町民センター(9)、多目的研修センター(7)
ホール型施設	34	平戸文化センター(28)
コミュニティー施設	10	-
公園施設	7	-
スポーツ施設	33	総合運動公園ライフカントリー(9)、シーライフひらど(7)、生月町B&G 海洋センター(5)、亀岡公園(4)
レクリエーション施設	2	-
福祉・保健施設	16	生月人形石斎場(4)
子ども向け施設	15	-
産業振興施設	9	平戸瀬戸市場(8)
文化・観光施設	25	平戸城(8)
交通施設	5	-
行政施設	25	生月支所(5)
その他の施設	17	-
施設に対する一般的意見	4	-
調査範囲外の施設	16	-

北部地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、「公民館・図書館」が27人で最も回答者が多く、次いで、「ホール型施設」の16人、「スポーツ施設」の13人、「文化・観光施設」の11人であった。単独の施設では、「平戸文化センター」が15人で最も回答者が多かった。

北部

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	27	平戸図書館(11)
ホール型施設	16	平戸文化センター(15)
コミュニティー施設	4	中野ふれあい会館(2)
公園施設	4	-
スポーツ施設	13	シーライフひらど(4)、亀岡公園(3)、総合運動公園ライフカントリー(2)
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	7	生月人形石斎場(4)
子ども向け施設	7	-
産業振興施設	2	平戸瀬戸市場(2)
文化・観光施設	11	平戸城(4)、たびら昆虫自然園(2)
交通施設	2	-
行政施設	4	-
その他の施設	9	-
施設に対する一般的意見	1	-
調査範囲外の施設	8	-

中部地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、「公民館・図書館」が18人で最も回答者が多く、次いで、「文化・観光施設」の6人、「スポーツ施設」の4人であった。単独の施設では、「ふれあいセンター」が12人で最も回答者が多かった。

中部

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	18	ふれあいセンター(12)、平戸図書館(3)
ホール型施設	1	-
コミュニティ施設	1	-
公園施設	1	-
スポーツ施設	4	総合運動公園ライフカントリー(2)
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	3	-
子ども向け施設	2	-
産業振興施設	2	-
文化・観光施設	6	平戸城(3)
交通施設	0	-
行政施設	2	-
その他の施設	1	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	1	-

南部地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、「公民館・図書館」が15人で最も回答者が多く、次いで、「行政施設」の6人、「ホール型施設」および「スポーツ施設」の4人であった。単独の施設では、「多目的研修センター」および「平戸文化センター」が4人で最も回答者が多かった。

南部

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	15	ふれあいセンター(2)、多目的研修センター(4)
ホール型施設	4	平戸文化センター(4)
コミュニティ施設	2	-
公園施設	1	-
スポーツ施設	4	総合運動公園ライフカントリー(2)
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	0	-
子ども向け施設	2	-
産業振興施設	1	-
文化・観光施設	1	-
交通施設	1	-
行政施設	6	-
その他の施設	2	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	1	-

度島地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、回答は「文化・観光施設」の1人のみであった。また、単独の施設について回答はなかった。

度島

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	0	-
ホール型施設	0	-
コミュニティ施設	0	-
公園施設	0	-
スポーツ施設	0	-
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	0	-
子ども向け施設	0	-
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	1	-
交通施設	0	-
行政施設	0	-
その他の施設	0	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	0	-

生月地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、「公民館・図書館」が16人で最も回答者が多く、次いで、「スポーツ施設」の9人、「行政施設」の7人、「ホール型施設」の5人であった。単独の施設では、「生月町中央公民館」が10人で最も回答者が多かった。

生月

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	16	生月町中央公民館(10)、平戸図書館(2)
ホール型施設	5	生月町開発総合センター(3)、平戸文化センター(2)
コミュニティ施設	3	-
公園施設	0	-
スポーツ施設	9	生月町B&G 海洋センター(6)
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	4	生月人形石斎場(4)
子ども向け施設	1	-
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	3	-
交通施設	0	-
行政施設	7	生月支所(5)
その他の施設	1	-
施設に対する一般的意見	1	-
調査範囲外の施設	6	-

田平地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、「公民館・図書館」が14人で最も回答者が多く、次いで、「ホール型施設」、「産業振興施設」および「行政施設」の5人であった。単独の施設では、「田平町民センター」が9人で最も回答者が多かった。

田平

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	14	田平町民センター(9)、平戸図書館(2)
ホール型施設	5	たびら活性化施設(3)、平戸文化センター(2)
コミュニティ施設	0	-
公園施設	1	-
スポーツ施設	2	-
レクリエーション施設	1	-
福祉・保健施設	1	-
子ども向け施設	1	-
産業振興施設	5	平戸瀬戸市場(5)
文化・観光施設	0	-
交通施設	1	-
行政施設	5	-
その他の施設	3	-
施設に対する一般的意見	0	-
調査範囲外の施設	0	-

大島地区では、今後も維持すべきであるとする施設について、「公民館・図書館」が3人で最も回答者が多かった。また、単独の施設について回答はなかった。

大島

公共施設の分類	回答数	回答数が2つ以上の施設
公民館・図書館	3	-
ホール型施設	0	-
コミュニティ施設	0	-
公園施設	0	-
スポーツ施設	0	-
レクリエーション施設	0	-
福祉・保健施設	1	-
子ども向け施設	1	-
産業振興施設	0	-
文化・観光施設	2	-
交通施設	0	-
行政施設	0	-
その他の施設	0	-
施設に対する一般的意見	1	-
調査範囲外の施設	0	-

3.8 問9 市民との意識の共有方法

市民との意識の共有方法について、最も回答が多かったのは「「広報ひらど」への掲載や回覧版による冊子等の配布」の529人で有効回答者数(910人)の58.1%であった。次いで、「公民館などでの住民説明会の開催」の342人(37.6%)、「パブリックコメント(意見の公募)の実施」の199人(21.9%)であった。

地区別では、大島地区を除くすべての地区が「「広報ひらど」への掲載や回覧版による冊子等の配布」が最も多い回答であった。また、大島地区は「公民館などでの住民説明会の開催」が最も多かった。

図 21 市民との意識の共有方法（有効回答=910、複数回答可）

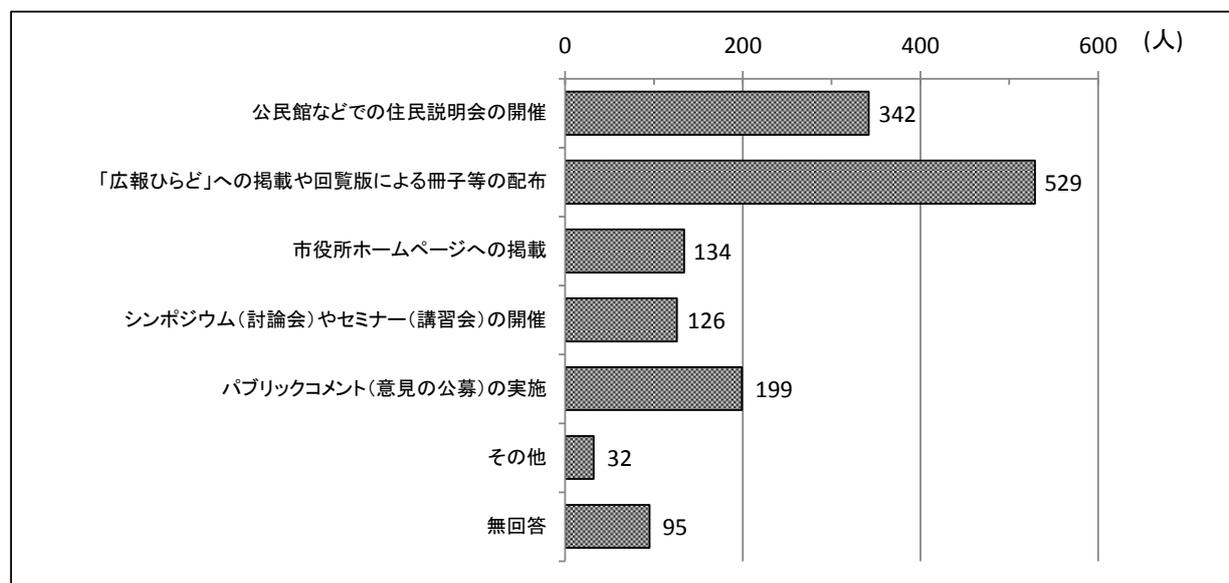
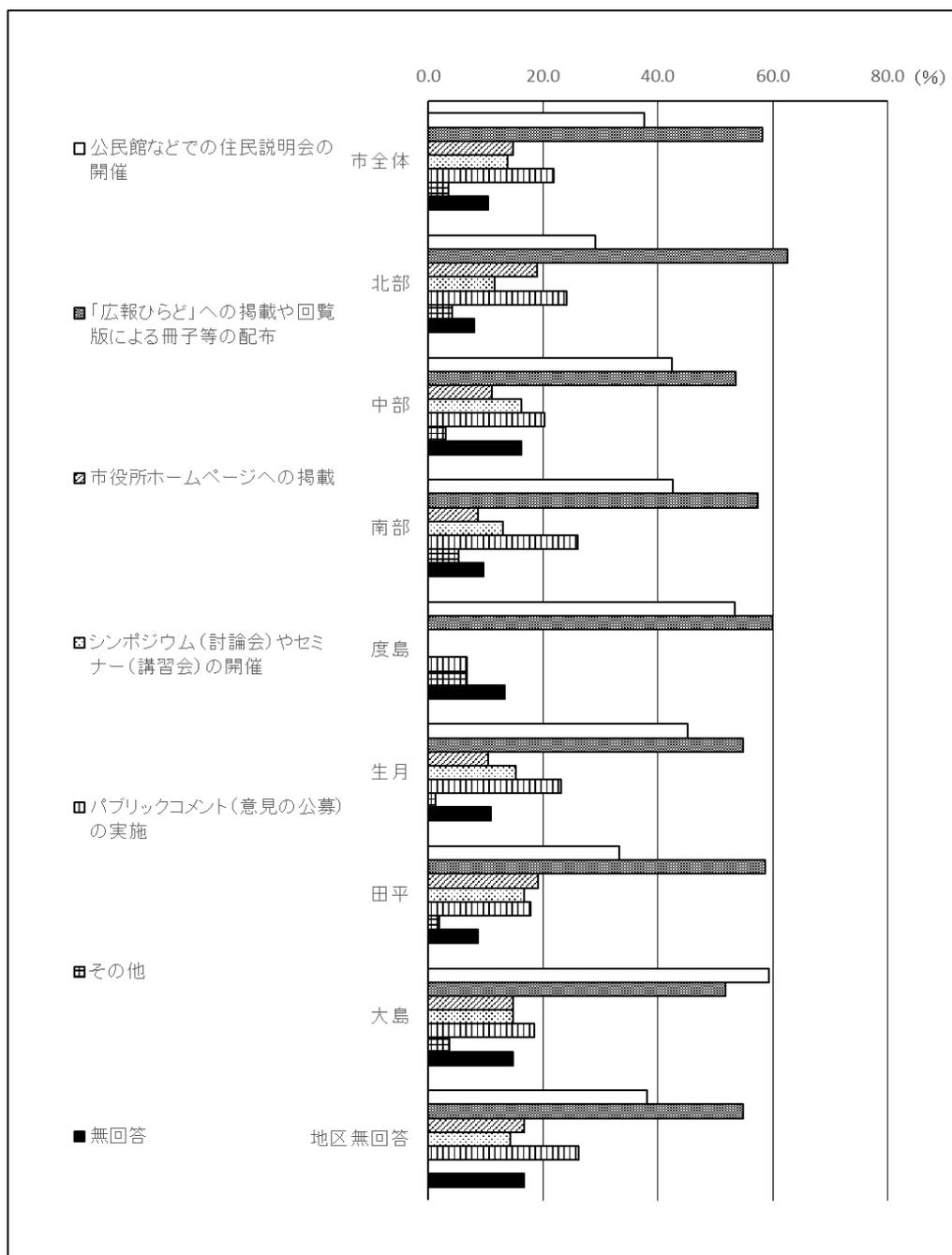


表 21 地区別の市民との意識の共有方法

問9. 今後、市民の皆様と意識を共有していくには、どのような方法が良いか。	市全体		北部		中部		南部		度島		生月		田平		大島		地区無回答	
	回答者数	割合(%)	回答者数	割合(%)														
公民館などでの住民説明会の開催	342	37.6	83	29.0	42	42.4	49	42.6	8	53.3	74	45.1	54	33.3	16	59.3	16	38.1
「広報ひらど」への掲載や回覧版による冊子等の配布	529	58.1	179	62.6	53	53.5	66	57.4	9	60.0	90	54.9	95	58.6	14	51.9	23	54.8
市役所ホームページへの掲載	134	14.7	54	18.9	11	11.1	10	8.7	0	0.0	17	10.4	31	19.1	4	14.8	7	16.7
シンポジウム(討論会)やセミナー(講習会)の開催	126	13.8	33	11.5	16	16.2	15	13.0	0	0.0	25	15.2	27	16.7	4	14.8	6	14.3
パブリックコメント(意見の公募)の実施	199	21.9	69	24.1	20	20.2	30	26.1	1	6.7	38	23.2	29	17.9	5	18.5	11	26.2
その他	32	3.5	12	4.2	3	3.0	6	5.2	1	6.7	2	1.2	3	1.9	1	3.7	0	0.0
無回答	95	10.4	23	8.0	16	16.2	11	9.6	2	13.3	18	11.0	14	8.6	4	14.8	7	16.7
有効回答数	910		286		99		115		15		164		162		27		42	
無効回答	0		0		0		0		0		0		0		0		0	

図 22 地区別の市民との意識の共有方法



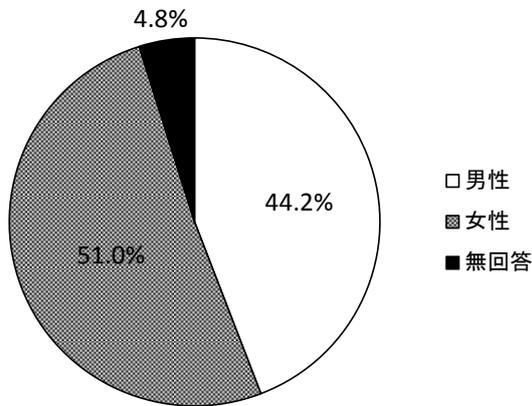
※有効回答=合計:910、北部:286、中部:99、南部:115、度島:15、生月:164、田平:162、大島:27、地区無回答:42

3.9 問10 公共施設等に対して期待することや要望、老朽化対策や維持更新費用の削減に必要と考えられる方策など(自由記入)

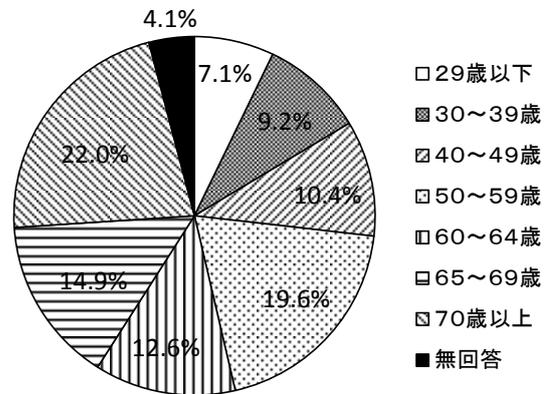
別紙3参照

4. アンケート回答者の属性

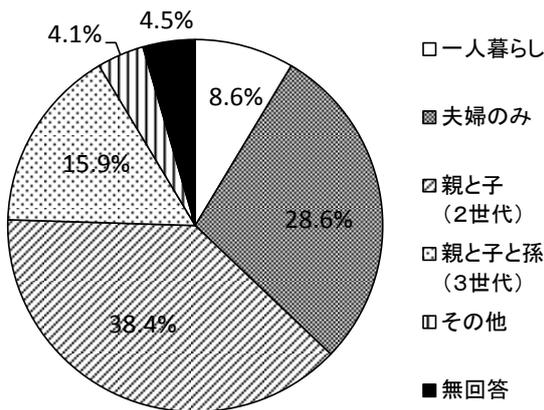
■回答者 性別（有効回答＝910）



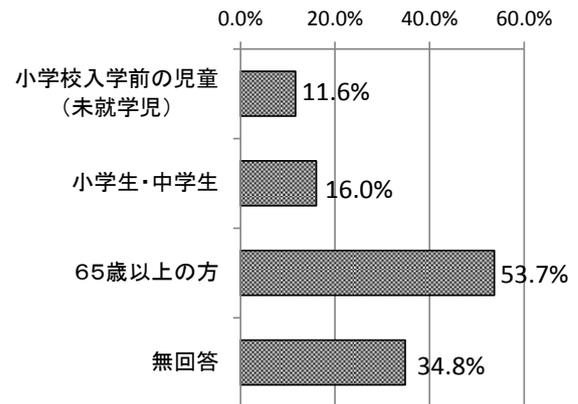
■回答者 年齢（有効回答＝910）



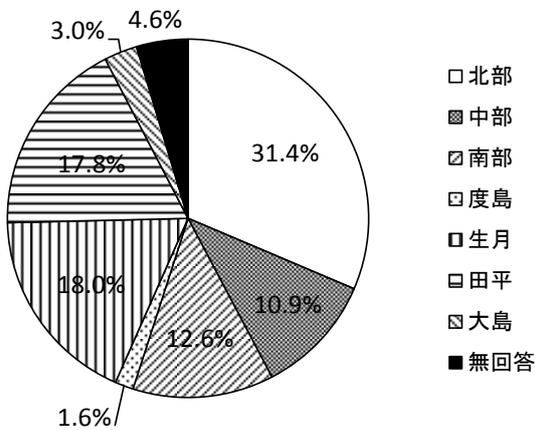
■回答者世帯 家族構成（有効回答＝910）



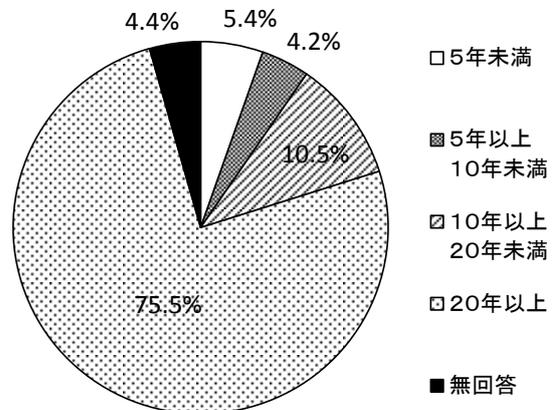
■回答者世帯 児童・高齢者の有無（有効回答＝910、複数回答可）



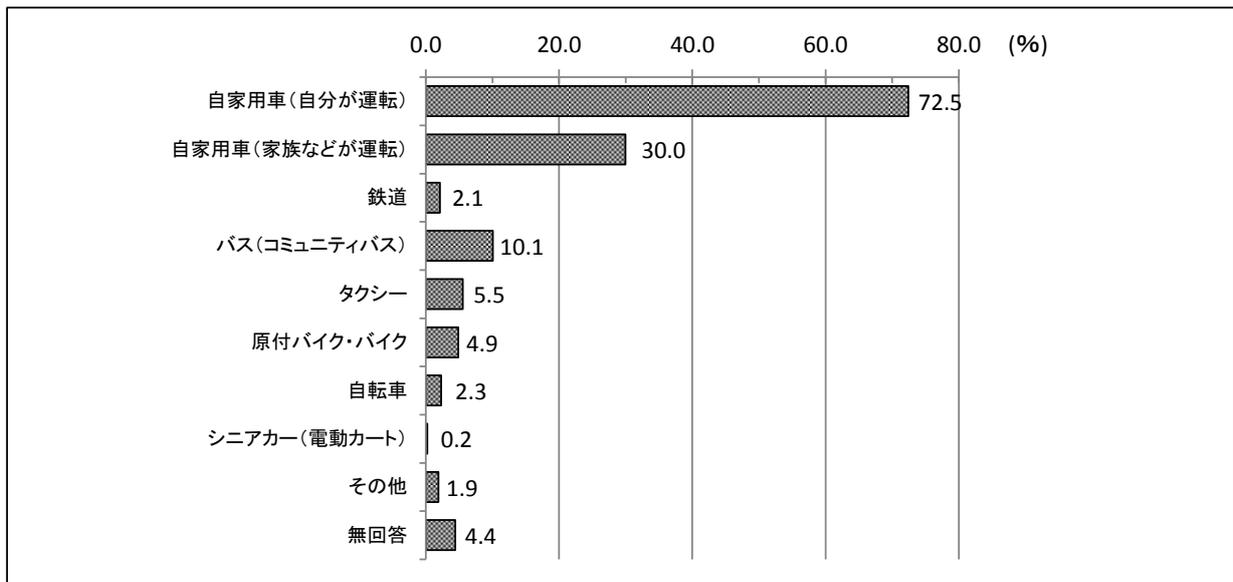
■回答者世帯 居住地域（有効回答＝910）



■回答者世帯 居住年数（有効回答＝910）



■回答者世帯 移動手段（有効回答＝904、複数回答可）



5. アンケート回収率

■単純回収率

回収数 910 / 配布数 2500 = 36.4%

■年齢別回収率

年齢層	回収数	配布数	回収率
29歳以下	65	286	22.7%
30～39歳	84	280	30.0%
40～49歳	95	365	26.0%
50～59歳	178	472	37.7%
60～69歳	251	617	40.7%
70歳以上	200	480	41.7%
無回答	37	-	-
全体	910	2500	36.4%

■地区別回収率

地区別	回収数	配布数	回収率
北部	286	800	35.8%
中部	99	300	33.0%
南部	115	300	38.3%
度島	15	50	30.0%
生月	164	450	36.4%
田平	162	500	32.4%
大島	27	100	27.0%
無回答	42	-	-
全体	910	2500	36.4%

平戸市公共施設等総合管理計画の策定について

経緯

「公共施設等の総合かつ計画的な管理の推進について」
(総財務第74号 平成26年4月22日)

「公共施設等総合管理計画」
の策定に取り組むよう要請

これまでの取り組み

「平戸市公共施設適正化基本方針」
(平成27年3月)の策定

公共施設(ハコモノ)の適正化について、人口動向や財政運営等を踏まえ、着実に取り組むための基本的な考え方や、本市における拠点となる施設のあり方等をまとめた。

- 基本方針
- 住民サービスの必要性等に応じた公共施設の位置づけ
- 機能拠点施設の方向性等
- 公共施設の適正化に関する手法
- 公共施設の適正化に関する試算

公共施設等総合管理計画策定に向けての取り組み

ステップ1

将来の公共施設(ハコモノ)とインフラの維持更新費用を推計し、現実的な投資可能額と比較する。

維持更新費用の目標を設定

固定資産台帳の整備(H27年度実施)

公共施設調査(H27年度実施)

ステップ2

個々の公共施設について、コスト、利用者、老朽化などの観点から評価(採点)を行う。

平戸市総合計画、平戸市財政健全化計画、平戸市人口ビジョン等

平戸市公営住宅等長寿命化計画、平戸市立学校等適正規模・適正配置基本方針等

ステップ3

維持管理費の目標を達成するための、公共施設等の管理に関する基本方針・実施方針を検討する。

公共施設老朽化調査(H27年度実施)

市民アンケート調査結果(H27年度実施)

パブリックコメント

「平戸市公共施設等総合管理計画」(平成29年3月)の策定

平戸市公共施設等総合管理計画の目次構成と内容

項目	内容
はじめに	市長のあいさつ文、顔写真を掲載する。
第1章 計画策定にあたって	
1 計画策定の背景と目的	公共施設等総合管理計画を策定することになった背景と目的、計画の位置づけ、計画期間、計画の対象範囲を記載する。
2 平戸市の概要	平戸市の位置・地勢、沿革、人口の推移及び将来人口、財政の現状と将来予測について記載する。
3 公共施設の現状と将来予測	
3.1 公共施設(ハコモノ)	建築系の公共施設(ハコモノ)の築年度、延床面積等を整理し、将来の維持更新費用を推計する。
3.2 インフラ施設	インフラ系の公共施設(道路、橋りょう、トンネル、水道、漁港施設など)の築年度、延長(面積)等を整理し、将来の維持更新費用を推計する。
3.3 全体の更新費用	公共施設(ハコモノ)とインフラ系の公共施設の維持更新費用を推計し、財政健全化計画で試算されている投資額との差を明らかにする。
3.4 市民アンケート結果を踏まえた課題	市民アンケート結果からみえる公共施設の課題、維持更新に関する市民の認識・考え等を整理する。
3.5 公共施設老朽化調査	公共施設老朽化調査の結果及び課題を整理する。
4 公共施設等に関する課題	公共施設等に関する課題を総括する。
5 公共施設の評価	公共施設にかかるコスト、利用者数、老朽化調査結果、耐震化など多角的に個々の施設を評価(採点)する。施設分類別(例えば、小学校)に客観的な順位をつける。
第2章 公共施設等の管理に関する基本方針	
1 公共施設(ハコモノ)に関する基本方針	維持更新費用の目標を決め、それを達成するための基本方針を記載する。基本的には「平戸市公共施設適正化基本方針」のとおり。
2 インフラ施設に関する基本方針	維持更新費用の目標を決め、それを達成するための基本方針を記載する。
第3章 計画の実施方針	
1 施設分類別の取り組み方針	基本方針に従い、施設分類別にどういった取り組みを実施し、どれだけ削減するのかを記載する。施設の再編(複合化、集約化、他用途への転換、廃止)、施設運営の効率化(民間活力等の利用、保有形態の見直し、広域利用)、財源確保などから適切な取り組み方針を示す。
2 地区別の取り組み方針	施設の配置状況や必要性、離島による交通アクセスなどを考慮して、地区別の取り組み方針を示す。
第4章 計画の推進体制	
1 組織体制	公共施設等総合管理計画を推進するための、組織と役割を記載する。
2 管理方針	公共施設等について、品質、コスト、量の観点において管理方針を示す。
3 市民との情報共有	計画の進捗状況など、市民との情報共有の方法を記載。広報、HPでの公表など。
4 アクションプラン(個別計画)の策定	アクションプランの策定の必要性、担当する所管課、それぞれの目標を示す。
5 フォローアップ(検証、見直し)の実施	公共施設等総合管理計画の進捗状況等を把握し、計画の見直しを実施することを記載する。見直しの時期、方法などを記載する。

平成 28 年度 行革推進業務の主な取り組みについて

1. 行政改革推進計画の進捗管理

平成 25 年度に策定した行政改革推進計画の進捗状況について、調査および各課ヒアリングを実施し、適正な進捗管理を行う。

(1) 関係組織

行政改革推進本部、行政改革推進委員会

(2) 作業行程

6 月 平成 27 年度進捗状況調査

8 月 各課ヒアリングの実施

10 月 実績報告書の作成

(3) 進捗管理

10 月 行政改革推進委員会（実績報告書（案）を提出）

11 月 行政改革推進本部（実績報告書（案）を提出し最終承認を受ける）

12 月 12 月定例議会 総務委員会で説明

1 月 広報、市HPにおいて実績報告書を公表

2. 行政改革推進計画中期プランの策定

今年度、行政改革推進計画の前期（平成 25～28 年度）が終了するため、中期（平成 29～32 年度）プランを策定する。

(1) 関係組織

行政改革推進本部、行政事務改善委員会、行政改革推進委員会

(2) 作業行程

7 月 中期プラン策定に向けた各課との意見交換

8 月 中期プランに記載する内容整理（たたき台の作成）

9 月 たたき台に基づく関係課との調整

10 月 中期プラン（案）の作成

2 月 中期プラン完成

(3) 進捗管理

8 月 行政事務改善委員会（たたき台を元に検討）

9 月 行政改革推進本部（たたき台説明）

10 月 行政事務改善委員会（中期プラン（案）を元に検討）

10 月 行政改革推進委員会（行政事務改善委員会検討結果について提案を受ける）

11 月 行政改革推進本部（中期プラン（案）説明）

1 月 行政事務改善委員会（中期プラン（案）を元に検討）

2 月 行政改革推進委員会（行政事務改善委員会検討結果について提案を受ける）

2 月 行政改革推進本部（中期プラン（案）を提出し最終承認を受ける）

3 月 3 月定例議会 総務委員会で説明

3. 平戸市公共施設等総合管理計画の策定

平戸市の将来に向けた公共施設（建築物、道路、橋りょう、水道施設等）の適正配置と適正管理を定める公共施設等総合管理計画を策定する。

(1) 関係組織

行政改革推進本部、行政事務改善委員会、行政改革推進委員会

(2) 作業行程

- 8月 平戸市公共施設等総合管理計画素案、統合廃止の実施方針の作成（たたき台の作成）
- 8月 統合廃止の実施方針について各課ヒアリング
- 10月 平戸市公共施設等総合管理計画（案）作成
- 12月 パブリックコメント実施
- 1月 平戸市公共施設等総合管理計画完成

(3) 進捗管理

- 8月 行政事務改善委員会（たたき台を元に検討）
- 8月 行政改革推進委員会（行政事務改善委員会検討結果について提案を受ける）**
- 9月 行政改革推進本部（たたき台説明）
- 10月 行政事務改善委員会（平戸市公共施設等総合管理計画（案）の検討）
- 10月 行政改革推進委員会（行政事務改善委員会検討結果について提案を受ける）**
- 11月 行政改革推進本部（平戸市公共施設等総合管理計画（案）を説明）
- 12月 12月定例議会 総務委員会で平戸市公共施設等総合管理計画（案）説明
- 1月 行政事務改善委員会（パブリックコメント、議会提案の検討）
- 2月 行政改革推進委員会（行政事務改善委員会検討結果について提案を受ける）**
- 2月 行政改革推進本部（平戸市公共施設等総合管理計画（案）を提出し最終承認を受ける）
- 3月 3月定例議会 総務委員会で説明